

UrbanSafari

[アーバンサファリ]

日之出出版

Mar.2022 Vol.26

Cover Story

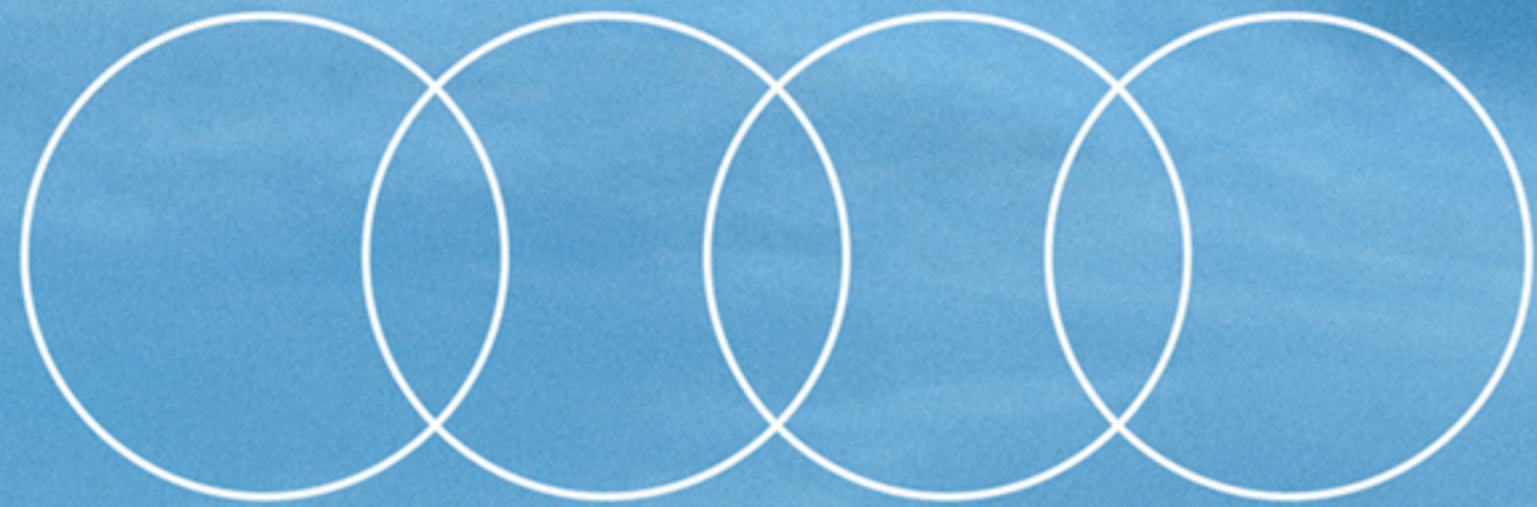
ジェイク・ギレンホール

Sustainability
in Fashion.

未来志向のアイテム選び。



GIORGIO ARMANI



明日を、いま選ぶ。

アウディの電気自動車ラインアップが続々拡大。
Audi e-tron と共に、よりサステイナブルな未来へ。



アウディの電気自動車の魅力を、ぜひショールームでご体感ください。
Audi e-tron Lineup Fair開催 3/26 sat. - 4/3 sun.



TAGHEUER.COM

Only by pushing
the limits of possibilities,
you discover new dimensions.

BEYOND THE EDGE

TAG HEUER AQUARACER

Contents

- 08 COVER STORY ジェイク・ギレンホール
- 10 in Your CLOSET
- 14 気分が前向きになる軽快アウターとは？
- 18 〈イセタンメンズ〉が提案する未来志向のアイテム選び。
- 30 未来に向けた課題を楽しいものに変えるには？
- 41 FINEST SAUNA HOTEL
- 47 Gastronomic City TOKYO

Nicolas Scenner

ニコラ セナー／LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン
タグ・ホイヤー 取締役ジェネラルマネージャー

写真＝穂刈麻衣 photo : Mai Hokari (BOIL)

今、ブランドの文化的な意味を提供することが必要。

世の中の急速な変化に対応するのはどの企業にとっても大きな課題。そんな変革の時代に、日本の〈タグ・ホイヤー〉を背負うジェネラルマネージャーに就任したニコラ セナー氏。いわずと知れたこのブランドは、160年以上の歴史を誇るスイス時計の名門。日本において、彼はどんな舵取りをするのだろうか？

「〈タグ・ホイヤー〉は過去10年間に日本で急速に動き、多くのコレクション、様々なマーケティング活動やプロジェクトを行ってきました。そして今、私たちはブランドのDNAを見つめ、次の10年の成長に備える必要があります」

〈タグ・ホイヤー〉を表現する最適な言葉は、革新、エレガンス、そしてアヴァンギ

ャルドな精神に基づく高性能と語るニコラ セナー氏。まさしくそれらはブランドのDNA。カレラやアクアレーサー、オータヴィアなどのコレクションに宿っている。とはいえ、なぜ今、ブランドのDNAに立ち返る必要があるのだろうか？

「新型コロナウイルスが流行る前と後でお客様にも変化がありました。その中で私たちもお客様と一緒に進化し、より繋がりを持ち、より多くのフィジタル(フィジカルとデジタル)な機会を共有したい。さらに全体としては、ブランドの文化的な意味を提供する必要があるのです」

長い歴史があるからこそ、文化的な意味が重要となる。それを革新的な取り組みの中で提供したいと氏は語ってくれた。

発行人&編集長
Publisher & Editor in Chief
藤原 晃
Akira Fujiwara
メディア事業部 部長
Director of Media Division
成井 毅
Tsuyoshi Narui

アートディレクター
Art Director
藤澤拓也
Takuya Fujisawa (ANAGUMA)
デザイナー
Designer
渋谷裕子
Yuko Shibue (ANAGUMA)

コントリビューティング・エディター&ライター
Contributing Editors & Writers

遠藤 匠
Takumi Endo
大嶋慧子
Keiko Oshima
古関千恵子
Chieko Koseki
柴田 充
Mitsuru Shibata
中村孝則
Takanori Nakamura
渡邊ひかる
Hikaru Watanabe

●本誌掲載商品の価格表示はすべて税込み価格です。
●本誌内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。
●本誌の編集内容に関するお問い合わせは編集部直通☎03-5543-1230までお願いいたします。
なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

発行
株式会社日之出出版
〒104-8505 東京都中央区八丁堀4-6-5
編集☎03-5543-1230
広告☎03-5543-1131

〈タグ・ホイヤー〉

1860年にエドワード・ホイヤーが創業した会社はじまり。以来、時計製造における革新的な挑戦を続け、高精度クロノグラフでもその名を高める。代表作カレラをはじめ、モータースポーツとの関わり合いも深く、現在〈ボルシェ〉とのパートナーシップを継続。最近ではタグ・ホイヤー コネクトッドとスーパーマリオとのコラボ作も話題に。

PROFILE

1980年、米・カリフォルニア州生まれ。1991年に映画デビューし、'99年の『遠い空の向こうに』や『ドニー・ダーコ』で注目を集める。2005年には、『ブローックバック・マウンテン』でアカデミー助演男優賞にノミネート。以降、『ソディアック』『マイ・ブラザー』『ラブ&ドラッグ』『ミッション:8ミニッツ』『プリズナース』『複製された男』『サウスボー』『ライフ』などに出演し、演技派としての地位を確立していく。近年は『スパイダーマン』シリーズの悪役ミステリオとしても人気を獲得した。

JAKE GYLLENHAAL

【ジェイク・ギレンホール】

写真＝ Dan MacMedan / Contour by Getty Images 文＝渡邉ひかる
photo by Dan MacMedan / Contour by Getty Images text : Hikaru Watanabe

最

近では、あの愛おしきヒーロー、スパイダーマンを厄介な状況に追いこんだ男として知られているかもしれない。映画『スパイダーマン：ファー・フロム・ホーム』に登場するミステリオことクエンティン・ベックは優秀な技術者でありながら、過激な思考も持ち合わせた危険なヴィラン。その複雑さ、大胆さをジェイク・ギレンホールが巧みに演じたことで、ミステリオはスパイダーマンらが活躍する一連の映画シリーズ、マーベル・シネマティック・ユニバースの要注目キャラクターになった。ギレンホール自身も巨大シリーズへの参加を心から楽しんだようで、熱烈なファンの声援に今も笑顔で応じ続けている。

大作シリーズの一員として活躍する姿がこれ以上ないほどじっくりくるといえばじっくりくるし、ちょっとした驚きにも感じられる。そんな印象があるのは、彼の柔軟なキャリアによるのかもしれない。映画監督の父、脚本家の母、女優の姉のいる芸能一家に生まれ育ったギレンホールのフィルモグラフィは当初から華やか。と同時に、挑戦心あふれるものでもあった。1991年の映画『シティ・スリッカーズ』で、名優ビリー・クリスタルの息子役を演じて俳優デビュー。10代にして主演を務めた『遠い空の向こうに』は爽やかな感動ドラマで、心に残る名作映画として長く愛されるものになった。一方、その2年後に公開された『ドニー・ダーコ』はかなりの異色作で、ギレンホールは不安定な男子高校生ドニー・ダーコをダークに熱演。難解なストーリーと斬新な映像世界が話題となり、カルト作として今も支持され続けている。ちなみに、姉のマギー・ギレンホールも、この映画にドニー・ダーコの姉役で出演。姉も弟同様の才人で、本年度の各映画賞を席巻している『ロスト・ドーター』で長編監督デビューを果たしたばかりだ。昨年のヴェネチア映画祭では、『ロスト・ドーター』を初披露するマギーの応援にジェイクが駆けつける一幕も。才能あふれる仲よし姉弟として映画ファンを笑顔にさせている。

『ディ・アフター・トゥモロー』のようなディザスター超大作で主演を張ったかと思えば、翌年の『ブローバック・マウンテン』では同性愛者のカウボーイという難役に挑戦したり。風変わ

りで過激な描写が目を引く戦争映画『ジャーヘッド』に嬉々として出演したかと思えば、ディズニー映画『プリンス・オブ・ペルシャ／時間の砂』の王子と化したり。20代でもやはり振れ幅の広さ、バランスのよさが目立ったが、30代に突入してからはプロデューサーとしても頭角を現すように。パトロール警官たちの日常をリアルに描いた『エンド・オブ・ウォッチ』を皮切りに、不気味なパパラッチが主人公の『ナイトクロラー』、ボストンマラソンの爆弾テロ事件を題材にした『ボストン ストロング 〜ダメな僕だから英雄になれた〜』などを製作し、主演も兼任。デンマーク発のユニークなサスペンス映画『THE GUILTY／ギルティ』が話題になった際は、自身の製作会社でいち早くリメイク権を獲得するネットワークの軽さも見せた。完成した作品は昨年ネットフリックスで配信された。

また、振れ幅の広さという点でいえば、ギレンホールはプロデューサー業を本格化させるのに前後し、舞台にも精力的に出演。ストレートプレイのみならずミュージカルにも挑戦し、ブロードウェイ公演の『サンデー・イン・ザ・パーク・ウィズ・ジョージ』では歌声を披露して話題となった。また、2019年の『シー・ウォール／ライフ』で

はトニー賞演劇主演男優賞の候補に。舞台人としても大きな注目を集めている。

そんな彼の出演最新作は、『トランスフォーマー』シリーズのヒットメイカー、マイケル・ベイと組んだ『アンビュランス』だ。コロナ禍で撮影された本作の舞台は、現代のロサンゼルス。帰還兵の弟を誘って銀行強盗に乗り出すも、不測の事態に悩まされる男ダニーを演じている。

「ダニーは興味深い人物で、脚本を読み進めるうちにとても好きになった。感情移入できるだろうか？」とも思ったけどね。観客が誰か登場人物に感情移入する中、少し怖がらせるようなキャラクターを演じるのは面白いものだよ」

ギレンホールの言葉どおり、ダニーは複雑で、一筋縄ではいかない人物のよう。強盗に失敗し、警察に包囲されたダニーと弟は、現場に駆けつけた救急車を奪って逃走せざるを得なくなる。しかも、車内には瀕死の警官と救命士が。マイケル・ベイ映画らしいカーアクションも満載で、アドレナリン全開の展開が待っている。もちろん、ここで見られるジェイク・ギレンホールは“大作映画の顔”のほう。となると、次に来る彼は……？ いずれにせよ、これから先もずっと楽しませてくれることは間違いなさそうだ。



『アンビュランス』

退役軍人のウィルは難病の妻の治療費のため、犯罪のプロである兄ダニー（ギレンホール）が企てた銀行強盗計画に加担。しかし、ダニーとウィルは想定外の事態の末警察に包囲され、現場に駆けつけた救急車を奪って逃走せざるを得なくなる。しかも、車内には瀕死の警官と救命士が……。2005年のデンマーク映画『25ミニッツ』を、マイケル・ベイ監督&ジェイク・ギレンホール主演でリメイク。●3月25日より、全国ロードショー

© 2022 Universal Studios. All Rights Reserved.

Through conversations with Michael Bay, we wanted to create a relationship that felt like a real brother.

**マイケル・ベイ(監督)との会話を通して、
本物の兄弟のような関係性を築きたいと思った。**

ジェイク・ギレンホール

in Your

CLOSET*

新たな価値観とともに〈カルティエ〉は時代を刻み続ける。

サスティナブルとは決して必要以上の我慢や清貧を強いることではない。気に入ったものを長く使い続ける。そんな肝要を〈カルティエ〉は教えてくれる。タイムレスなデザインにソフトパワーという新たな価値を添えた。

写真＝野口貴司 スタイリング＝中川原 寛 ヘア & メイク＝星 隆士 文＝柴田 充 構成＝大嶋慧子

photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNV) hair&make-up: Takashi Hoshi (Signo) text: Mitsuru Shibata composition: Keiko Oshima

Solar Watch

カルティエの
“タンク マスト ソーラービート”

1917年の誕生以来、いつの時代も“タンク”はエレガンスと先進性を象徴してきた。1970年代に登場した“レ マスト ドゥ カルティエ”もそのひとつ。そしてこの“タンク マスト”では現代の最新技術を注ぎ、次世代に向けて進化を遂げた。新採用した“ソーラービート”ムーブメントは、文字盤での受光を電気エネルギーに変えて駆動し、電池寿命も約16年を誇る。消費されることのない優美なデザインに、ソフトパワーによる生命力が息づく。それもまた時代を超越した傑作にふさわしい。



〈カルティエ〉史上初のソーラーウォッチ。ストラップには、スイス、ドイツ、イタリアで栽培されたリンゴの廃棄物など、非動物性素材を使用。ケースサイズ33.7×25.5mm、クォーツ、SSケース、動物由来不使用のストラップ。腕時計32万5600円(カルティエ／カルティエ カスタマー サービスセンター)、ジャケット27万5000円、Tシャツ3万8500円、ハット5万5000円(以上ジョルジオ アルマーニ／ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

©Cartier

in Your

CLOSET*

さりげない日常にこそ、未来志向の気持ちを宿す。

休日は、華やぐ気持ちを楽しみながらゆったりと時間を過ごしたい。そんなひとときにはシャンパンが似合う。気負いのないスタイルには「この平穩を大切にしたい」という気持ちをこめて。それが明るい未来へと繋がる。



Bag
フェンディの
“フェンディネス ミニ”



Cashmere Knit
ブルネロ クチネリの
“カシミアニット”



Watch
トム フォード タイムピースの
“トム フォード オーシャンプラスチック
スポーツ タイムピース”



Sneakers
ヴァレンティノ ガラヴァーニの
“オープン フォー ア チェンジ
バイオベース
マテリアル スニーカー”

D

〈トム フォード〉の新作は、回転ベゼルとロゴ入りのジャカードストラップを備えた、ラグジュアリーなマリントイストウォッチ。100%リサイクルされた海洋プラスチックが使われ、海洋保全への取り組みを象徴。スポーティなスタイルを楽しみつつ、サステイナブルへの意識も新たになる。

ケース径43mm、自動巻き、100%オーシャンプラスチックケース、ジャカード織りストラップ、100m防水。腕時計24万9700円(トム フォード タイムピース/トム フォード ジャパン)、ニットパーカはAと同じ

C

ちょっとした外出でポケットを膨らませたくないときに重宝するのがボディバッグ。“マイクロミニ”は、ロゴをモチーフにしたバックルをはじめ、スタイリッシュなデザイン全体に、リサイクルナイロン素材“エコニール”を用いる。だから、高い実用性とともに、いつまでも使い続けたい。

バッグ15万6200円(フェンディ/フェンディ ジャパン)、ニットパーカはAと同じ

B

人気の白スニーカーをベースに、大胆なグリーンバンドと踵のスタッズが個性を主張する。だがそれにも増して惹かれるのが、レザーの代替素材としてアッパーやサイドバンドなどに使用したりリサイクルや植物由来の素材。ブランド初の取り組みにフットワークもさらに軽くなるだろう。

スニーカー 8万8000円(ヴァレンティノ ガラヴァーニ/ヴァレンティノ インフォメーションデスク)、パンツはAと同じ

A

カシミアの魅力は、暖かさとリッチな着心地にある。周囲にひけらかさずともその風合いは伝わり、触れた瞬間に真のラグジュアリーを知る。そんな価値ある素材だからこそ〈ブルネロ クチネリ〉はサステイナビリティを重視し、品質に加えて動物や環境に配慮する。その優しさが温もりになるのだ。

男:ニットパーカ25万6300円、Tシャツ4万6200円、パンツ13万2000円 女:ニット14万5200円、ネックレス 参考商品(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)、時計はDと同じ

in Your

CLOSET*

深まる環境への意識が新たな旅を予感させる。

かつてのように移動の自由がままならなくなった今、より強く心は旅へと誘われる。そのイマジネーションを自然や見知らぬ土地に広げたとき、あらためて環境に対する意識も深まる。そこから新たな旅がはじまるのだ。

ビジネスバッグ22万5500円、キャリーバッグ30万2500円、ネイビージャケット24万2000円、シャツ7万1500円、パンツ13万7500円、ローファー12万7600円、サングラス6万2700円
(以上グッチ/グッチ ジャパン クライアントサービス)

Business Bag
& Carry Bag

グッチの
“グッチ オフ ザ グリッドの
ビジネスバッグとキャリーケース”

スタイリッシュな旅の相棒として人気の“グッチ オフ ザ グリッド”。トラベルから普段使いまで幅広い用途に応える機能性に、都会的なデザイン。カラー展開もある中、ブラックは圧倒的な人気を誇る。〈グッチ〉を象徴するGGパターンを織りこんだ表地には再生ナイロンの“エコニール”を採用するほか、ペットボトルを原料とするリサイクルポリエステルなど、再生素材や環境に配慮した素材を使用。意識せずとも循環型社会への活動に貢献できる。

Gucci / グッチ

in Your

CLOSET*

ランニングも楽しく、ヘルシーに続けたい。

テレワークの普及とともにランニングが人気に。それも距離やタイムに挑戦するのではなく、ヘルシーな生活習慣として、楽しみながら継続することが眼目。その視線はサステナブルな社会にも向けられるだろう。



Sneakers

ステラ マッカートニーの
“ループ スニーカー”Blouson
& Pantsエンポリオ アルマーニの
“リサイクルナイロン
ブルゾンとパンツ”

Sunglasses

オークリーの
“バイオマター サングラス
ブラック インク”

Body Bag

サンローランの
“エコニールナイロン
ボディバッグ”

D

〈オークリー〉が特許を取得する独自素材“オーマター”は、従来のアセテートに比べて約25%の軽量と約2倍の耐久性を誇る。新たな“バイオマター”は、これと同等のパフォーマンスを天然素材の植物樹脂で実現した。海とともにあるサーフカルチャーに根ざすブランドならではのサングラスだ。

サングラス3万3220円(オークリー/ルックスオディカジャパン)、キャップとジャケットはAと同じ

C

愛用のスニーカーにこそこだわりたい。“ループ スニーカー”は、有毒な溶剤を含む接着剤を使わず、アッパーとソールを接合する。特殊な設計と縫製により、各パーツも分解しリサイクルが可能で、“ループ”の名もそこに由来する。そのコミットメントこそ真摯な未来志向を象徴している。

スニーカー7万400円(ステラ マッカートニー/ステラ マッカートニー カスタマーサービス)、パンツはAと同じ

B

水分補給のドリンクボトルやスマホを入れて走りたいとき、“シティ サンローラン”のボディバッグが重宝する。街映えするシンプルなデザインに、廃棄物をリサイクルした“エコニール”を使用。通常のナイロンに比べてCO₂排出量を最大90%削減できるという面を知ると、さらに大切にしたいくなる。

バッグ11万5500円(サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス)、ジャケットはAと同じ

A

今期で4シーズンめを迎えたサステイナブルコレクションは、よりスポーティになった。ストレッチ素材のシアサッカー生地はオーガニックコットンを使い、裏地はリサイクルストレッチナイロンメッシュを配する。スポーティな機能性と天然素材の快適性を併せ持ち、汗をかくのがより楽しくなる。

フード付きジャケット12万4300円、Tシャツ3万3000円、パンツ5万7200円、キャップ3万6300円(以上エンポリオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、サングラスはDと同じ

選ぶ理由はデザインと素材の違いです。

気分が前向きになる 軽快アウターとは？

心地よさを増す気候に心が躍り、軽快なアウターが魅力的に見える季節に。気になるブランドの新作を見渡してみると、リサイクルナイロン仕立てのものが多いことに驚かされる。デザインや着心地のよさはもちろん、環境に対しても優しく、それでいて上質感も享受できるとなれば気分も上がるもの。心の底からお洒落を楽しみながら、気負わず自然体で。前向きに新しいライフスタイルに踏み出そう。

写真＝野口貴司 スタイルिंग＝中川原 寛 ヘア & メイク＝星 隆士 文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara (CaNN)
hair&make-up : Takashi Hoshi (Signo) text : Takumi Endo composition : Keiko Oshima

MONCLER

心安らぐアースカラーは
休日の街にもよく馴染む。

軽快なナイロンアウターのスポーティさを中和し、街の景色にも馴染んでくれるのが、アースカラーを採用した“オクターボ”というモデル。表地とライニングにリサイクルナイロンを用いたボディは、配色も肌触りも非常に柔らか。左袖のブランドアイコンは、前立てとリンクしたツートーンカラー。いつもと違うロゴ配色で、新鮮さも印象づけられる。

ブルゾン11万8800円、シューズ10万3400円(以上2 モンクレール 1952 マン/モンクレール ジャパン)、Tシャツ6万3800円(モンクレール グルノーブル/モンクレール ジャパン)、パンツ7万1500円、バッグ10万2300円(以上モンクレール/モンクレール ジャパン)、サングラス4万9500円(モンクレール ルネット/モンクレール ルネット カスタマーサービス)

男らしい着こなしを 肩の力を抜いて楽しむ。

モッズコートを思わせる男らしいスタイルの装いだが、春らしい軽快さも感じられる。そんな絶妙な着こなしを叶えてくれるのがこの1着。ボディには、微生物の働きによって分解され、土に還る生分解性ナイロンを採用。しかも、レインコートとして着用しても遜色ない撥水性も備わっているという。少レクリーミーなグリーンはまさに大人好み。

マチを設け、収納力を高めたポケットがデザイン上のアクセントに。ポケットは上部に加え、横からもアクセスできる2WAY設計で、ミニウォレットやスマホといった手まわり品を余裕で収納できる。コート10万7800円、Tシャツ2万4200円、パンツ3万5200円(以上ヘルノ/ヘルノ・ジャパン)、その他はスタイリスト私物



HERNO

A man with a beard and short hair is wearing a bright green Prada jacket over a white button-down shirt. He is also wearing a dark bucket hat and grey shorts. He is holding a black Prada bag with a strap. The background is a blurred outdoor setting with a metal railing.

PRADA

**高級感とエコの両方を
追い求められる時代に。**

春夏の流行色でもある、あざやかなグリーンを、上品かつ軽快に楽しませてくれるのが〈プラダ〉の新作ブルゾン。ナイロンとしては出色の高級感を放つこの生地だが、実は漁網や使い古したカーペットなどの廃棄物をリサイクルした再生素材“エコニール”を使用したリナイロンだから驚く。バケットハットを合わせ、旬の装いを楽しんでみては？

オープンカラーシャツに施されたプリントも、〈プラダ〉をさりげなく印象づけられるトライアングルロゴモチーフに。ブルゾン26万4000円、ショートパンツ18万1500円、シャツ13万7500円、ハット7万8100円、バッグ30万2500円※すべて予定価格 (以上プラダ／プラダ クライアントサービス)

JIL SANDER+

優しい配色と風合いに 包みこまれる贅沢を。

オフ白パンツの清々しさを味方につけた装いに対し、リラックス感をもたらしてくれるボックスシルエットの春コート。黒や紺とは違う落ち着いた着き放つモカ色ボディはリサイクルナイロン製で、止水ジッパーがスポーティなアクセントに。長い丈を感じさせない軽さのおかげで肌離れもよく、着心地も快適。大人らしい落ち着いた着きの中で春らしい軽快さが楽しめる。

男: フード付きコート26万700円、ニット6万6000円、Tシャツ(3枚セット価格)4万8400円、パンツ10万3400円、サンダル10万8900円、バッグ11万5500円(以上ジル・サンダー+ バイラーシーアンドルー・メイヤー/ジル・サンダー・ジャパン) 女: ワンピース16万2800円、肩にかけたシャツ11万6600円、バッグ9万7900円、サンダル10万8900円(以上ジル・サンダー+ バイラーシーアンドルー・メイヤー/ジル・サンダー・ジャパン)

今必要なことを、さりげなく。

〈イセタンメンズ〉が提案する 未来志向のアイテム選び。

未来のために今できることを、気負わずさりげなく。〈イセタンメンズ〉には、それをファッションで実践できるアイテムが揃っている。心の底からお洒落を楽しむための提案をしながら、次の世代が美しい地球で豊かに暮らせる社会の実現を目指す。そんな未来志向のアイテムの一部を紹介しよう。

写真＝野口貴司、正重智生 スタイルング＝中川原 寛 ヘア & メイク＝星 隆士 文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi, Tomoo Syoju (BOIL) styling : Kan Nakagawara (CaNN) hair&make-up : Takashi Hoshi (Signo)
text : Takumi Endo composition : Keiko Oshima

SAINT LAURENT

サンローランの “キモノジャケット”

ふわりと起毛されたこのニットアウターは、その名も“キモノジャケット”。帯を締めない着物のように羽織るスタイルが春の装いに新鮮さをもたらす。柔らかな着心地は、サスティナブルな素材由来のモヘアとリサイクルナイロンで演出したもの。男性だからこそ映える絶妙な花柄の美しさを楽しむだけで、地球への優しさを表現できる。

着丈はたっぷりとした両袖より短く、ドロップショルダーでゆったり着こなせる。襟型はエレガントなショールカラー。左右のポケットに手を入れても絵になる。ニットジャケット29万7000円、半袖シャツ13万2000円、パンツ9万3500円、スカーフ2万2000円、シューズ19万8000円(以上サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/伊勢丹新宿店)





PRADA

プラダの “リナイロン ショルダーバッグ”

このショルダーバッグはクラシックなビーチバッグをモダンに解釈したもの。トライアングルロゴのような開口部がスタイリッシュな印象を醸す。同社はこのバッグを含むすべてのナイロン製品に、海洋投棄された漁網等のプラスチック廃棄物を再利用。浄化し作られた“リナイロン”を用いている。もはやこの素材自体が、ブランドの未来を担う一部に。

トライアングル型のフラップ部分は、ダブルジップになっており、大きく開く設計。荷物の出し入れがしやすい。ファブリック製のストラップはしなやかで、背負った際にカラダのフォルムに心地よく馴染む。取り外し可能なポーチ付き。W15×H21×D15cm。ショルダーバッグ20万9000円、シャツ13万7500円、ショートパンツ14万800円(以上プラダ／伊勢丹新宿店)



MONCLER

モンクレールの
“ボーン トゥ プロテクトの
ダウンベスト”

Valentino Garavani

ヴァレンティノ ガラヴァーニの
“オープン フォー ア チェンジ
バイオベースマテリアル スニーカー”



C A

D B

DSQUARED2

ディースクエアードの
“ワン ライフ ワン プラネットの
スウェット”



Alexander McQUEEN

アレキサンダー・マックイーン
の
“トレンチコート”



D

ショーツとのセットアップ使いも楽しいパーカーやTシャツの色彩は、ウコンやカカオといった天然染料を用いて表現。各所に施された、力強い地球へのメッセージが映える。

ブランドが掲げる“ワン ライフ ワン プラネット”コレクションの新作。オーガニックコットンを使い、製造時の水や化学物質の使用量も削減。パーカー8万1400円、ショーツ6万500円、Tシャツ3万7400円(以上ディースクエアード／伊勢丹新宿店)

C

春を感じる配色のダウンベストとTシャツ、スニーカーを含め、“ボーン トゥ プロテクト”のもので、特定のサステナビリティ基準に従って調達した素材で作られている。

ダウンベストは、春の着用に適した薄手の設計。Tシャツにレイヤードすれば、プリントされたプロジェクト名をさりげなくアクセント使いできる。ダウンベスト21万2300円、Tシャツ4万5100円、スニーカー5万9400円(以上モンクレール／伊勢丹新宿店)

B

内側に同色のコートをレイヤードしているように見える、独創的デザインのトレンチコート。オーガニックコットン製の生地には張りがあり、きれいな落ち感を楽しめる。

レイヤードに奥行きをもたらしてくれるシャツは、イギリスの詩人ウィリアム・ブレイクの『神曲』の挿絵をモチーフにしたもの。爽やかなボブリン仕立て。コート53万9000円、シャツ13万4200円(以上アレキサンダー・マックイーン／伊勢丹新宿店)

A

“オープン フォー ア チェンジ”のプロジェクト名が目玉の白いスニーカー。柔らかなアッパーやサイドバンドは、レザーの代替素材として植物由来のポリウレタンを採用。

踵まわりに施されたスタッズが、横顔やバックスタイルの見どころに。〈ヴァレンティノ〉のトレードマークであるこのディテールも、リサイクルナイロン製。靴紐にも再生ポリエステルを使用。8万8000円(ヴァレンティノ ガラヴァーニ／伊勢丹新宿店)



ALL GOOD FLOWERS

オールグッドフラワーズの “ブーケ”

“お花をよりデイリーにカジュアルに”
を掲げるフラワーショップがメンズ
館1階にオープン。同店がセレクトす
る季節の花で、自然を感じる生活を。

ENDOCA

エンドカの “オーガニック CBD コスメ”



北欧で生産されたナチュラルなCBDアイテム。
直接飲めるスポイトタイプのオイルから、全身
に使えるフェイスボディオイルまで。ボディバ
ターは肌ケアに加え、リラクスタイムにも。

CLUBHAUS

クラブハウスの “〈SOPH.〉コラボ ポロシャツと ヴィンテージ パターヘッド”

古の名器をリメイクして、現代の感覚で蘇らせた“ブ
ラックバース”のパター。〈ソフ〉とのコラボボロを
纏い、時代を超えた色褪せない魅力を楽しもう。



GRAND SEIKO

グランドセイコーの “ヴィンテージ ウォッチ”

日本が世界に誇る〈グランド
セイコー〉のヴィンテージ ウ
ォッチをセレクト。メンテナ
ンス後に新品の牛革ベルトを
搭載。その美しさを蘇らせた。



A: 上、中/ウエスタン・ヴィンテージ・ゴルフ各7万4800円 下/ウエスタン・ヴィンテージ・シグ
ニチャーローファー 6万3800円(以上ジェイエムウエスタン/伊勢丹新宿店) B: 農業不使用、非
遺伝子組み換え素材で作ったフェイスボディオイルは角質層まで浸透し、シルキーな肌に導く。右
/ヘンプオイル 15% CBD 10ml 2万1600円 中/フェイスボディオイル200ml 9900円 左: ボ
ディバター 30g 5500円(以上エンドカ/伊勢丹新宿店) C: 伊勢丹特別ラッピングに包まれたブ
ーケ。各3300円(以上オールグッドフラワーズ/伊勢丹新宿店) D: 右/ヴィンテージGS 23万
1000円 左/ヴィンテージGS 28万6000円(以上メンズレジデンス/伊勢丹新宿店) E: どちら
も4月20日からの期間限定イベントに登場。パターケースは、USのブランドに別注をかけたオリ
ジナルで、単体では販売されないレアアイテム。ポロシャツ各1万5400円、パター〈パターケース
付き〉16万5000円(以上クラブハウス/伊勢丹新宿店) F: 肌に潤いを与え、健やかに整える化粧
水とオイル美容液。リフレッシュには、高知ヒノキや青森ヒバなどの精油配合のアロマルームミ
ストを。右/コアバランス トーニングローション150ml 6050円 中/コアバランス オイル50ml
6050円 左/スイッチング アロマ ルームミスト SACRED TREE 100ml 3850円(以上アスレ
ティア/伊勢丹新宿店)

Athletia

アスレティアの “オーガニックコスメ”

〈アスレティア〉は、毎日
をアクティブにしながら
に生きたいと願う人への
スキンケア&ライフス
タイルブランド。ジェン
ダーを問わず人気。



今できることをやり続け、進化していく。

時代の流れを作り出す 〈三越伊勢丹〉が目指すこと。

未来を見据えたライフスタイルが注目される中、〈三越伊勢丹〉が2021年4月からスタートさせた“think good”が話題に。サステナビリティに関わる様々な社会課題に〈三越伊勢丹〉はどう向き合っていくのか。〈イセタンメンズ〉バイヤーの吉岡 裕さんに、そのヒントを伺いました。

写真＝田中駿伍 文・構成＝堀川博之
photo: Shungo Tanaka(MAETTICO) text & composition: Hiroyuki Horikawa

“環境への配慮はもちろん大切。
ただし、カッコよくなくては意味がない”

未来のために〈三越伊勢丹〉が はじめたサステナビリティ。

〈イセタンメンズ〉の要ともいえる、メンズのラグジュアリーブランドを担当するバイヤー吉岡 裕さんに、“think good”について、その活動の内容を聞いてみた。

「“think good”とは、2021年4月から使用をスタートした〈三越伊勢丹〉のサステナビリティに対する合言葉です。“地球環境や社会に対して、なにができるのか考えよう”とはじまりました。」

取り組みの中で反響の 大きかった昨年の実績とは。

「〈イセタンメンズ〉の取り組みで反響のあったひとつが〈ジェイエムウエストン〉です。役目を終えたシューズを下取りし、フランス・リモージュの自社工場で熟練の職人がリペアを施します。それをニューコレクションとしてリリースするというポップアップイベントでした。予想以上の反響から、一度価値がなくなった物にもう一度生命を吹きこむという取り組みは、大切だし求められていると実感しました。しかしファッションとしての提供価値を考えたとき、それがかっこ悪くても誰も見向きしてくれません。不要と

思われていた物が新しく、かっこよく、そして価値が出たら、これほど素敵なことはないと強く信じています」

ファッションにおける サステナビリティの難しさ。

「こうした活動を積極的に進めるという考えのひとつが“think good”です。ただその一方で、いっさい口にはせずに粛々と取り組み、実はエコであることを後から知らせるパターンもあります。私個人は、後者のほうがいいなと。というのも、ファッションが好きな方は、商品の見た目のかっこよさに魅かれて購入されることがほとんどだからです。また、エコを全面に掲げすぎると、気使う部分が増え、お客様に伝えたい本質がボヤけてしまうことがあります。ファッションにおける第一印象は、見た目や肌触りなどクオリティが大切です。『この服はエコだからいいですよ』というお客様へのアプローチは、今の時点では受け入れ難いかと。であれば、お気に召されてから、『実はこちらエコなんです』と添えたほうが、お客様もプラスαで幸せな気持ちになるんじゃないかと」

今年は新たな価値へと再生する デニムやインテリアに注目。

では、今後展開予定の未来志向型キャンペーンはどういったものなのか。

「“デニム de ミライ～DENIM PROJECT～”になります。〈ヤマサワプレス〉が所有している〈リーバイス®〉のユーズドストックを活用し、廃材を引き取って、協賛賛同していただいたブランドに商品を作ってもらうという企画です。今までは捨てられてしまっていた引き取り手がなかったユーズドストックの生地、新しい価値を吹きこむというものです。これは、〈三越伊勢丹〉全館でのキャンペーンとして展開していきます。また、建材や家具の製作過程で出る様々な樹種の“木っ端”や伐採された後に残る“根っこ”を利用し、素材の個性を生かしたプロダクトを紹介しよう、という企画も進行中です。こうした新しい企画やアイデアは、〈三越伊勢丹〉のバイイングチームが、その感性で社会に目を向けることで、様々なカテゴリーで生まれてきます」

日本人ならではの エコへのアプローチ法とは？

「マーケティングの観点から、ミレニアルやZ世代の共感を得るために、デジタルを活用してサステナビリティをアピールすることはとても大切だと思います。

ですが、個人の意見としては、書物『淮南子』に由来がある“陰徳”という感覚が大事だと思っています。特に、上質な物を好むお客様こそ、奥ゆかしさを美徳と感じていらっしゃる。そういった私たちの姿勢を感じていただけたら嬉しいですし、お客様に寄り添うことで、信頼を築いていくことが大切だと思っています。とにかくエコに関しては、いつか100%を目指し、今できることをひとつずつ増やしていく段階だと思っています。ファッションとしてかっこよく、その実はちゃんと取り組んでいます＝“think good”という具合に」

PROFILE

吉岡 裕さん

伊勢丹新宿店 メンズ館 バイヤー

2001年伊勢丹(当時)入社。2013年からメンズ館3階 メンズデザイナーズフロアを担当。現在は1階から3階のメンズラグジュアリーブランドを幅広く担当している。

〈三越伊勢丹〉が取り組む “think good”とは？

〈三越伊勢丹〉のサステナビリティ活動の合言葉が“think good”。未来のために今選びたいモノやコトを考え、新しいライフスタイルを提案していく取り組み。ファッションにおいては、今回、〈リーバイス®〉のデニムのリユースなどに力を入れている。この活動は、今後も様々な形で行っていく予定。

BRUNELLO CUCINELLI

上質素材の心地よさを長く
楽しむことにも価値がある。

バージンウールとカシミアを贅沢に使った薄ダウンベスト。Tシャツの上にさらりと羽織ると、とろけるような着心地を体感できる。こうした上質素材はその快適さを長く堪能できる。よいものを長年愛用することもまた、価値を持つ時代だ。ちなみにこれを作った〈ブルネロ クチネリ〉は、温室効果ガス排出量を削減する10年計画に取り組んでいる。

柔らかなウールカシミアニットに対し、高品質なグースダウンとフェザーをフィリングしたダウンベスト。厚みを抑えているため、ジャケットのインナーとしても快適さを享受できる。ダウンベスト39万6000円、Tシャツ4万4000円、パンツ13万2000円、帽子5万3900円（以上ブルネロ クチネリ／伊勢丹新宿店）

頼りたいのは〈イセタンメンズ〉の目利き力。

未来志向のブランドから
心ときめくアイテムが続々。

明るい未来に向かって進んでいきたいという思いは、ファッションでも表現できるもの。〈イセタンメンズ〉には、そんな気持ちに寄り添ってくれる未来志向のブランドの春アイテムが揃っている。かけがえない自然環境のためにできることを取り入れながら、上質さや心地よさを享受できる。そんな心ときめく装いで、春の街へと出かけませんか？

写真＝野口貴司 スタイルリング＝中川原 寛 ヘア＆メイク＝星 隆士 文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (Ca.NV)
hair&make-up: Takashi Hoshi (Signo) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

海をきれいにできて
着心地も爽快な新顔ポロ。

不朽の名作といっても過言ではない
〈ポロ ラルフ ローレン〉のポロシャツ。
この春新調するなら、同社が環境保護
の取り組みとして製作している“アース
ポロ”はどうだろう。1枚生産すると、
海や埋立地から約12本のペットボト
ルを減らすことができる。新緑を感じ
させるこの配色なら、穏やかな気持ち
で休日を過ごせるに違いない。

清々しい配色は、染色工程で水を一切使用しな
い製法で表現。再生ペットボトルだけを使った、
革新的なビケ素材を採用。100%リサイクルで
きる製品でもある。ポロシャツ1万9800円、ショ
ーツ1万7600円、サングラス、サンダルともに参
考商品（以上ポロ ラルフ ローレン／伊勢丹新
宿店）、その他はスタイリスト私物

POLO RALPH LAUREN

足取り軽やかに明るい未来に 歩いていけそうな1足。

〈マルニ〉らしい心躍る色彩が目を引くこのスニーカーなら、街歩きの足取りも軽快に。これは、フランス発のサステイナブルシューズブランド〈ヴェジャ〉とのコラボモデル。採用した革は欧州の化学品規制であるREACHに準拠したもので、ソールもリサイクルゴム。手作業による配色は左右で異なり、個性を感じる足元を演出できる。

付属するマルチカラーとホワイトの靴紐は、リサイクルポリエステルで仕立てたもの。マルチカラーの靴紐のほうは、スニーカーと同じような手描きの落書き風のタッチで彩られている。スニーカー 5万600円、シャツ10万100円、パンツ8万2500円、バッグ10万1200円(以上マルニ／伊勢丹新宿店)、その他はスタイリスト私物



MARNI

EMPORIO ARMANI



サーファーにインスパイアされた装いで颯爽と街へ。

都会派サーファーを気取って出かけたくなる、デジタルプリントのシェルジージャケット。素材はリサイクルナイロンを使用した生地で、ストレッチ入りなので締めつけ感のないノーストレスな着心地。このアイテムを含むサーファーをテーマにした「サステナブル コレクション」は、すべての製造工程に持続可能なアプローチを用いている。

あざやかで高精細なデジタルプリントとグレンチェックのリサイクルナイロン素材は、動きに追従してよく伸びる。ブルゾン12万9800円、Tシャツ3万4100円、パンツ7万3700円、スニーカー4万1800円、バッグ参考商品(以上エンポリオ アルマーニ／伊勢丹新宿店)

information

「エンポリオ アルマーニ サステナブル コレクション」は3月30日(水)より、日本を含めた世界同時展開される。また、4月6日(水)～19日(火)にて伊勢丹新宿店 メンズ館2階 メンズクリエイターズにて、4月20日(水)～5月3日(火)エストネーション六本木本店にてポップアップストアを展開



名刺代わりのバッグにも “違い”が欲しい大人へ。

バッグコレクションを新展開した〈タトラス〉。持ち味である都会的な世界観を楽しめるバッグは、いずれも漁網などの廃棄物を再利用したエコニールを採用。高級感を放つ生地自体は、イタリアのリモンタ社で仕立ててもらったリップストップ生地で、耐久性も申し分ない。それでいて美しい光沢を放つ生地感が、違いを印象づけてくれる。

手前のバックパックは、ダブルポケットで収納力を高めた設計。また、奥のトートバッグを特徴づける立体感、パッド入りのブロックデザインで表現した。バックパック12万1000円、トートバッグ7万1500円、ポーチ4万4000円、ブルゾン8万3600円(以上タトラス／伊勢丹新宿店)、その他はスタイリスト私物

information

伊勢丹新宿店 メンズ館1階 プロモーションにて4月5日(火)までの期間限定で「Safari」のポップアップストアが開催中。今回このページでご紹介している〈タトラス〉のエコニールを使用したバックパックやトートバッグのほか、様々なバッグも登場するので是非お見逃しなく。

TATRAS



Calvin Klein

街映えするセットアップの 優しい着心地の秘密とは？

〈カルバン・クライン〉の持ち味であるスタイリッシュで美しいシルエットを味方につけたセットアップ。クセになるしなやかさの秘密は、ペットボトルのリサイクル繊維である“リプリーブ”を使用した素材にある。シワや型くずれを防ぐため混紡されているポリエステルも、再生素材。休日に限らず、オンタイムのスタメンにもしたい快適さ。

“リプリーブ”にリサイクルポリエステルとモダールをブレンドし、とろみのある柔らかな着心地に仕上げた。Tシャツに羽織っても美しいシルエットを描き出せる。ジャケット5万2800円、パンツ1万7600円、Tシャツ5500円、スニーカー参考商品（以上カルバン・クライン／伊勢丹新宿店）

伊勢丹新宿店 メンズ館で『Safari』のポップアップストアが開催中!

〈リーバイス®〉の名作“501®”をアップサイクル!

伊勢丹新宿店 メンズ館で『Safari』がポップアップストアを期間限定で開催中。そこで、『Safari』が愛してやまないデニム〈リーバイス®〉“501®”を再利用していろいろなアイテムを作る伊勢丹新宿店が主導する“デニム de ミライ〜DENIM PROJECT〜”に参加。デニムはもちろん、ネームタグにリサイクルポリエステル糸を使用するなど、徹底的にこだわった。しかも、ここで紹介するアイテムはこのポップアップストアの先行発売もの。デニム好きなら、是非チェックを!

写真=今江寿之 スタイリング=浅井秀規 ヘア&メイク=勝 健太郎 photo:Toshiyuki Imae styling:Hidenori Asai hair&make-up:Kentaro Katsu

Safari Lounge

[サファリラウンジ]

思わず外使いしたくなる!? ランドリーバッグ!

デニムを穿くように、ガシガシ使えるのが魅力のランドリーバッグ。ワンマイル使いはもちろん、デートにだって使いちゃう男前な見た目。しかも、内側は耐久性・防水性がある生地“タイベック”を使用。W48×H50×D32cm。1万3200円(Safari Lounge)



Safari Lounge

[サファリラウンジ]

〈リーバイス®〉のデニムが サンダルに変身~!

デニム好きにはたまらないサンダル。表側はヴィンテージ感のあるブルーデニム、内側はボアを使用して肌触り柔らかか。ちょっとソコまでのワンマイルコーデにも似合う。2万3100円(Safari Lounge)



Safari Lounge

[サファリラウンジ]

お洒落でデキる男は PCケースだってデニム!?

普段使いできるラップトップケース。内側はグレーのチェックで2つのポケットを完備。大きく開く開口部なので出し入れも楽。クラッチバッグとしても使用できるように、外側にレザーハンドル付き。2万5300円(Safari Lounge)



ランドリーバッグ1万3200円、肩にかけたデニムフラッグ4万9500円(以上Safari Lounge)、デニムパンツ2万2000円(ダブルビー ウェストボイント/Safari Lounge)

Information

期間限定『Safari』のポップアップストア!

伊勢丹新宿店 メンズ館1階プロモーションにて、“デニム de ミライ〜DENIM PROJECT〜”の一環で『Safari』のポップアップストアが開催中。開催期間は、4月5日(火)まで。このポップアップストアのために作られた、スペシャルな限定商品や先行発売商品がずらりと並んでいるので、是非!



伊勢丹新宿店

④東京都新宿区新宿3-14-1
 ◎通常:10:00~20:00
 ※状況によって変更の可能性あり。
 詳しくは下記HPをご確認ください。
 ☎03-3352-1111(大代表)
<https://www.mistore.jp/store/shinjuku.html>



先着
300名

購入特典として『Safari』特製 〈ラミー〉万年筆をプレゼント。

店頭にて税込み1万円以上ご購入いただいた方には、『Safari』特製〈ラミー〉の万年筆を特別なデニムケースに入れてプレゼント。先着300名様限定で、非売品。この機会に是非!

ポップアップ仕様の メッセージTも販売。

店頭には、今回のポップアップストア用に作った特別なTシャツも登場。シンプルな白ボディには、“Livin' Life in Hope!”(希望に満ちた人生)”という今回のポップアップのテーマ入り。数量限定販売となるので、気になった人はお早めに。5500円(Safari Lounge)



特別
Tシャツ



新時代の価値ある商品をお客様と一緒に楽しみたい。

ティナブルな思考を持っているデザイナーの1人がステラ・マッカートニーです。自身のブランドでは、再生カシミアを積極的に取り入れたり、リアルレザーはいっさい使用せず、エコレザーを使用したりするなど、今のようにサステナビリティが叫ばれる前から徹底して取り組んでいました。そういう積み重ねがとても大事だと思います。ちなみにステラ自身はベジタリアンとして有名ですが、好きなチーズを我慢できないからヴィーガンではないそうです。通常はヴィーガンだけど、ときどきベジタリアン。父親のポールたちと一緒にミートフリーマンデー（月曜日は動物性のものを食べない）を立ち上げたのも、みんなできることを少しずつ頑張ろうということだと思います。これは本当によい取り組みで共感しています。週に1日だけなら頑張ればできそうですよね？ こういった取り組みは無理をすると続かないものですが、7分の1変わるだけで、地球全体で見れば大きな進歩です。一日一善的に地道な一歩からは始めるのがよいと思います。

楽しめるかどうか なにより大事なポイント。

遠藤: 私たちは運転する楽しさだけではなく、クルマと生活する、仲間と過ごす楽しさをお客様と共有するキャンペーン“JOY MOVES ME”を2022年からスタートさせました。#JOYMOVESMEのハッシュタグをお客様につけていただく、SNS型の投稿キャンペーンです。また、それに合わせて、48時間〈ビー・エム・ダブリュー〉の電気自動車が無条件に借りられる“JOY MOVES ME TEST DRIVE”キャンペーンもはじめました。これには非常に多くのお申し込みをいただいています。

吉岡: 素晴らしいキャンペーンですね。ちなみにお客様の反応はいかがですか？

遠藤: お客様自身が〈ビー・エム・ダブリュー〉の魅力がSNSで伝えられるととても好評です。最新モデルのほか、旧車を投稿される方も多いです。クルマを受け継ぐ喜びが感じられたのは新鮮でした。クルマを所有するということは、運転する以上に深い意味があると思いました。



藤原: さらにこれから電気自動車を大切に乗る人が増えると、楽しみながらサステナブルが叶うことにも繋がりますね。吉岡さん、ファッションも様々な視点で楽しみを提供できます。

吉岡: はい。まさに2022年秋冬コレクションを見るに、各ブランドらしさがしっかり出ています。サステナブルな面においてもブランドの表現は様々で、これも思考の多様化からだと思っています。

昔は、ファッションはトレンドに合わせてという風潮がありましたが、今は好きなものを選んで着ていい時代です。次の秋冬コレクションはそのあたりが顕著なので、楽しみにしてください。

藤原: お2人のお話を聞いて、サステナブルな取り組みの中で楽しいと思える気持ちをいかに大事にしているかがよくわかりました。また楽しい取り組みを教えてください。ありがとうございました。

PROFILE



遠藤 克之輔さん

BMW ブランド・
マネジメント・ディビジョン

マーケティングコンサルタントとして数々の業務に携わる。ギャップ・ジャパン、フェラーリ・ジャパンを経て現在はBMWジャパンに。



吉岡 裕さん

伊勢丹新宿店 メンズ館
バイヤー

伊勢丹新宿店 メンズ館を象徴する、ラグジュアリーメゾンによるマガジン『エポック(EPOCH)』なども手掛ける。



藤原 晃

Urban Safari 編集長

『Safari Online』編集長兼『Urban Safari』編集長。雑誌『Safari』でもクルマと時計の監修を務める。趣味はドライブと靴磨き。

〈ビー・エム・ダブリュー〉×〈イセタンメンズ〉×『Urban Safari』

未来に向けた課題を 楽しいものに変えるには？

“駆けぬける遊び”を提供する〈ビー・エム・ダブリュー〉と、最新のファッションとお洒落なライフスタイルを提供する〈イセタンメンズ〉。それぞれの業界にも精通した2人が考える、日常にワクワク感をもたらす取り組みとはなにか。今回は『Urban Safari』編集長を交え、未来を楽しくするヒントを探ってみました。

写真＝田中駿伍 文・構成＝堀川博之
photo : Shungo Tanaka(MAETTICO) text&composition : Hiroyuki Horikawa

サステナブルだけでは 消費者は満足できない！？

Urban Safari 藤原 晃(以下 藤原)：

今号の『Urban Safari』では“未来志向”がテーマです。いまや多くの企業が、環境保護やSDGsなどを意識して様々な取り組みをしています。その一方で、ユーザーや消費者側がそれらを“課題”として捉えてしまうと、どうしても商品やサービスに対してワクワク感が生まれにくいのも事実だと思うんです。そこでまずお2人にお聞きします。今、サステナブル意識の商品が増える中で、お客様に支持されているのはどんなものなのでしょう？

三越伊勢丹 吉岡 裕さん(以下吉岡)：

確かに様々なブランドがサステナブルを謳うアイテムを出しています。ですが、単にサステナブルというだけではお客様には響きにくいようです。やはりファッションにおいては、まず“カッコいい”と思える商品が軸となります。

藤原：クルマ業界では、電気自動車(EV)

え、環境にもよいとお客様がご理解いただいたうえでご購入いただくケースは増えています。ですが、電気自動車も、やはりスタイリングやクルマそのものの魅力がお客様にとってはとても大事ですね。

藤原：なるほど。いくらサステナブルな商品でも、本来消費者に求められていることがわかりやすい形で表現できていないと、受け入れてもらえません。

遠藤：クルマを運転する魅力自体は変わりませんし、そこにブランドの価値を感じるお客様は昔も今も多いです。たとえば、運転する楽しさという点でこんなエピソードがありました。普段は旦那様が〈ビー・エム・ダブリュー〉を運転していたのですが、たまたま旦那様に代わって奥様が運転することになり、はじめて運転が楽しいと実感されたようです。ほかのクルマでは感じたことのない体験だったようで、それ以来クルマを運転されるのは奥様になったみたいですよ。

藤原：それは面白いエピソードです。奥様もやりますね！

吉岡：ファッションを楽しむという感性は時代を経ても変わらない部分だと思います。ただし、最近では健康や快適志向も高まり、ライフスタイルの質をよくしたいという方が増えています。10年前は好きなファッションは無理してでも着て、カッコよく見せる方が多かったと思いますが、今は着ていて気持ちよく快適であることも大事になってきました。そ

のことを前提に、カッコいいものを選ぶお客様が増えているなど感じています。

循環型社会に向けて 各企業の取り組みとは？

藤原：ユーザーが直接関わる、サステナブルな活動や事例はありますか？

吉岡：〈三越伊勢丹〉では“think good”という合言葉のもと、サステナビリティ活動に取り組んでいます。その“think good”のひとつとして“I’m green”という、お客様の使われなくなったお品物を

お買い取り・お引き取りし、次に繋げる、循環型社会の実現を目標としたサービスを提供しています。お買い取りできなかった衣料品の一部は資源としてリサイクルする方法も用意し、責任をもって未来に繋げる場所へと送り出します。販売後のサポートを百貨店自らが運営を担うことで、新たな購買体験の創出・促進も視野に入れています。

藤原：そのサービスは新しいですね。遠藤さんはいかがですか？

遠藤：グローバルの話でいうと、〈ビー・エム・ダブリュー〉は2030年までに販売車の50%を電気自動車にするというコミットメントを発表しています。地球環境という点では、2030年までにプロダクトから派生するCO₂の80%を削減します。また、クルマだけではなく、クルマを製造する工場やサプライチェーンで使う電気はグリーンエネルギー由来のものにするなど、バリューチェーン全体でサステナブルに取り組んでいます。最終的には100%電動化を目指しているので、いずれガソリン車は趣味のクルマとして残ると思いますが、一般的なクルマは電気自動車に代わっていくと思います。そんな中で、日本ではディーラーでお出ししているおしぼりは3年で土に還るものを採用したり、様々なNPO法人と組んでのフードロス削減への取り組みやビーチクリーン活動など、環境に配慮した取り組みを以前から行っています。そうすること

でクルマ造りはもちろん、少しでも循環型社会に貢献できればと思っています。

地道な一步の積み重ねが 大きな結果を生むことに。

藤原：楽しみながらサステナブルが叶うヒントがあれば、お聞きしたいです。

吉岡：ファッションにおいて最もサス



をはじめ、ハイブリッド、プラグインハイブリッドなど、各社環境に配慮したラインナップを増やしています。〈ビー・エム・ダブリュー〉からもiXやi4などの電気自動車が続々登場していますが、実際お客様の反応はいかがですか？

BMW 遠藤克之輔さん(以下遠藤)：

〈ビー・エム・ダブリュー〉の前提として、“駆けぬける遊び”というスローガンがあります。その中で電気自動車という新しいカテゴリーや新しい乗り方が選択肢に入ったときに、今までのガソリン車では得られなかった爽快感なフィーリングに加





垂直デザインのキドニーグリルとシャープなLEDヘッドライトがデザイン性の高さを物語る。写真のi4 M50はブランド初の完全電動Mモデルで、航続可能距離は最大510km。i4 eDrive 40となると航続可能距離は最大590kmに(数値はともに欧州参考値)

ジャケット5万9400円(チルコロ 1901 / トヨタトレーディング プレスルーム)、パンツ3万6300円(ラルディニーニ / トヨタトレーディング プレスルーム)、Tシャツ7150円(サタデーズ ニューヨークシティ)、ネックレス23万1000円(シンパシー・オブ・ソウル / S.O.S fp 恵比寿本店)、プレスレット1万2100円(アンプジャパン / S.O.S fp 恵比寿本店)、スニーカー 3万800円(ニューバランス / ニューバランス ジャパンお客様相談室)、その他はスタイリスト私物

BMW i4 M50

[ビー・エム・ダブリュー i4 M50]

- 全長×全幅×全高:4783×1852×1448mm
- ホイールベース:2855mm
- 車両重量:2240kg
- 最高出力:400kW(544ps) / 8000rpm
- 最大トルク:795Nm(81.1kgm) / 0~5000rpm
- 航続可能距離:510km(欧州参考値)
- 駆動方式:四輪駆動
- 車両本体価格(税込み):1080万円~
- ※撮影車両はオプション装着車

BMW

〈ビー・エム・ダブリュー〉初のEVグランクーペ、i4。

未来志向の流麗な1台は “美しい走り”に違いが出る。

電気自動車に切り替えても、美しいデザインにはこだわりたい。そう思うなら、一度〈ビー・エム・ダブリュー〉i4に乗るといい。流麗なクーペスタイルで世界を唸らせた4シリーズの美しさはそのまま。そこにEVならではのダイナミックな走りを加え、機能、快適性を刷新した。未来志向の大人に向けて、“駆けぬける欲び”は美しくアップデートされている。

写真=正重智生 スタイリング=稲田一生 ヘア&メイク=勝間亮平 文・構成=堀川博之
photo: Tomoo Syoju (BOIL) styling: Issei Inada hair&make-up: Ryohei Katsuma
text & composition: Hiroyuki Horikawa

スタイルと走りにこだわる都会派に このi4はかなり効く。

EV(電気自動車)は一体どこをポイントに選ぶのがいいのか? そう思っている人も多いだろう。そんな中、もしあなたがスタイリングと走りにこだわるなら話は早い。なぜなら〈ビー・エム・ダブリュー〉i4は、ご覧のとおり流麗なクーペボディがウリ。都市の間を走り抜ける姿を見れば、誰だときめきを感じるだろう。もちろん走りに関しても、高いレベルで“駆けぬける喜び”をもたらして

くれるのがi4。実際に乗ってみると、走りに上質感があり、どこまでもなめらかでスムーズ。低重心を生かしたコーナリングや感動的な加速にも心が躍る。やはりモーター由来のトルクは絶大で、キビキビ走る様は流麗なスタイリングと相まって、まさに“美しく速い”EV選びを叶えてくれそうだ。さらに、500kmを余裕で超える長い航続距離もi4の美点のひとつ。最近では急速充電の設置場所も増え、短い時間で充電できるi4ならますます利便性が高まるというもの。“美しく速い”中に高い実用性も備えたi4。すでに答えは出ているようだ。



流れるようなルーフラインはスタイリッシュさの極み。ボディの随所にあしらわれたカーボンが、スポーティなスタイルに磨きをかける。i4 M50の0-100km/h加速はわずか3.9秒。速さと美しさの融合とはまさにこのこと



A:充電はより早く、より簡単に。約30分で10 ~ 80%を充電(DC急速充電150kW)。わずか10分の充電で150km以上(i4 M50では130km以上)の走行が可能 B:i4 M50のシートはM専用のスポーティなデザイン。しっかりとしたホールド感があり、長距離ドライブでも疲れ知らず C:コクピットには、次世代高精細デジタルディスプレイ“BMW iDriveオペレーティング・システム8”をiXに続いて採用。ドライバーに向けて緩やかに湾曲した大きな画面が未来を感じさせる D:EVとはいえ、スポーツ・モードにすると“アイコンニック・サウンド・エレクトリック”により迫力の走行音が楽しめる。手掛けたのは世界的な映画音楽作曲家ハンス・ジマー。エモーショナルなサウンドが気持ちいい



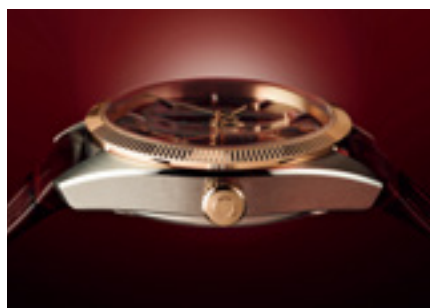
ニット6万8200円(フェデリノ/トレメツォ)、シャンプレーシャツ2万7500円(バグッタ/トレメツォ)

Green Dial



ケースバックは、サファイアクリスタルの奥にマスタークロノメーター取得のムーブメントを内蔵。中央には20世紀初頭に〈オメガ〉が樹立した数々の精度記録へのオマージュとして、天文台のメダリオンをあしらう

Burgundy Dial



バーガンディダイヤルは、SSケースにセドナゴールドのベゼルやリュウズを組み合わせたバイカラー仕様。2013年に発表した独自素材セドナゴールドは、パラジウムを配合。長期間の経年変色を抑え、独特の赤みをたたえる

THE GLOBEMASTER ANNUAL CALENDAR

[グローブマスター アニュアルカレンダー]

1952年の初代“コンステレーション”が採用したパイパン(パイ焼き皿)ダイヤルをモチーフに、12面には各月を記し、針で表示する。クラシックデザインと実用機能のエlegantな融合が魅力だ。ケース径41mm、自動巻き、100m防水。グリーンダイヤル:SSケース、アリゲーターストラップ107万8000円。バーガンディダイヤル:18Kセドナゴールド&SSケース、アリゲーターストラップ143万円(以上オメガ/オメガお客様センター)



スーツ価格で72万6000円、シャツ参考商品、チーフ参考商品(以上プリオーニ/プリオーニ クライアントサービス)

ス マートウォッチの多機能性を享受しても、個性を求めるならやはり機械式時計にこだわりたい。そこでおすすめするのが“グローブマスター アニュアルカレンダー”だ。

2015年に先進の認定規格“マスタークロノメーター”を世界ではじめて取得。高耐磁性など現代的な機能を備えつつ、フルテッドベゼルや多面のファセット文字盤、パイを焼くフライパンに形状が似ていることから“パイパン”ダイヤルと呼ばれるクラシカルなデザインを纏う。さらに翌年、年に1度の調整で月の大小を判断し自動的に日捲りするアニュアル

カレンダー機構を搭載。その新作にグリーンとバーガンディのほか、セドナゴールド文字盤が登場した。

メンズウォッチの文字盤は、白や黒、ブルーが中心。その中で、この2本はあざやかな個性を放つ。落ち着いた風格を感じるのは、ブランドのヘリテージを象徴する佇まいに日常使いにふさわしい実用性を秘めているから。ミリタリーを想起させるグリーンはデニムとも相性がよく、タイの定番色でもあるバーガンディは、ネイビージャケットに優美に映える。洗練されたカラーは自身を投映し、手元をスタイリッシュに飾ることだろう。

OMEGA

今度の〈オメガ〉は年次カレンダーと見た目で魅了。

シックな“パイパン”ダイヤルにお洒落心がグラッと揺れる。

男のお洒落とは決して周囲にひけらかすものではない。腕時計が男たちを虜にする理由もそこにある。〈オメガ〉の“グローブマスター”は、品格漂う“パイパン”ダイヤルに卓越した機能を装備し、個性豊かなカラーで文字盤を彩る。さりげなく手元で自分らしさを主張する、大人にふさわしいシックな1本だ。

写真＝正重智生 スタイルング＝浅井秀規 文＝柴田 充 構成＝大嶋慧子
photo: Tomoo Syoju(BOIL) styling: Hidenori Asai text: Mitsuru Shibata composition: Keiko Oshima

ある程度年を重ねた大人が納得して穿けるデニムとはどんなものなのか？ その最適解が、オランダ発のデニムブランド〈デンハム〉が手掛けるこの1本。“レイザー”というモデル名を持つこのデニムは細身ではあるものの、腰まわりや太腿がピタピタにならない、ほどよいフィット感が魅力。気になるお腹まわりの収まりもよく、それでいて膝から下はゆるやかにテイバード。足元はすっきりとした印象になる。それはスタイリッシュという褒め言葉がよく似合うほど。年相応の品を感じさせるカジュアルを叶えてくれることは間違いな

いだろう。一方でこうした細身のデニムは穿き心地が犠牲になりがちだが、その心配もない。というのも、このデニムはストレッチが効いているタイプ。不快な締めつけ感がなく、レストランの椅子やドライバースシートに座った際も快適に過ごせるはず。また、昨今ではテイラードジャケットにデニムを合わせるようなビジネススタイルもOKな時代になった。そんな中でこのようなクリーンな印象があるデニムなら積極的に穿きこなせるというもの。休日スタイルはもちろんビジネスでも使えるとなると、これぞまさに理想の1本と言っていいだろう。

DENHAM

都会派が選ぶのはいつも〈デンハム〉。

すっきり、快適を叶える 大人デニムの最適解。

年齢にともなうアップデートが必要な服といえば、実はデニム。カジュアルに装えるパンツとはいえ、街で気後れしないクリーンさは求めたいし、上質な服の心地よさを知っている年齢だからこそ、穿き心地にも妥協はできない。〈デンハム〉が手掛けるこのデニムなら、品よく見えるすっきり感に加え、動きやすく快適。大人のニーズに応える、理想のデニムといえるだろう。

写真＝正重智生 スタイリング＝浅井秀規 文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
photo: Tomoo Syoji (BOIL) styling: Hidenori Asai text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

color variation



detail



上: 裁ち鉄をモチーフにした左腰ポケットの“シザーロゴ刺繍”は、ブランドを特徴づける意匠 右: 裾の折り返しで赤耳をアピールできるセルビッジデニムは、イタリア製 下: ポリウレタン混で伸縮性をプラス。快適さが違う

RAZER

【レイザー】

右でコーディネートしたものは、6カ月穿いた状態を再現した色落ちが特徴。アタリを強調しない自然な色落ちゆえ、品よく穿くことができる。上の写真は、よりクリーンな印象で穿けるノンウォッシュのモデル。もちろん、ストレッチはしっかり効いている。4万4000円(デンハム/デンハム・ジャパン)

“レイザー”特有のすっきりとしたスリムテイバードシルエットは、カーディガンのような上品アイテムにも自然に馴染んでくれる。それでいてデニムにしか出せない独特の雰囲気感を味方につけられるこの絶妙なシルエットが、一番人気のモデルとなっている理由。カーディガン2万5300円、Tシャツ1万1000円、デニムパンツ5万6000円、手に持ったシャツ2万3100円、ベルト3万9600円(以上デンハム/デンハム・ジャパン)、その他はスタイリスト私物

ジャケット2万5300円、中に着たTシャツ9900円、パンツ1万4300円、バック4万5000円(以上アウール)、その他はスタイリスト私物

AOURE×HUNTING WORLD

贅沢さも併せ持つ〈アウール〉×〈ハンティング・ワールド〉のコラボ作。

長く愛せるバッグは 見映えと機能に折り紙つき。

ビジネスの装いがカジュアル化した時代だからこそ、機能的かつ質の高いビジネスバッグを持っていることが一目置かれる要素になりうる。クリエイティブディレクター戸賀敬城、デザイン監修には〈ジュンハシモト〉デザイナー橋本 淳という注目の新ブランド〈アウール〉が〈ハンティング・ワールド〉とタグを組んだコレクションは、まさしくその理想形。ビジネスアイテムをスマートに収納でき、かつステイタスの高さも印象づけられる。

写真＝野口貴司、正重智生 スタイリング＝中川原 寛 ヘア＆メイク＝星 隆士 文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi, Tomoo Syoju(BOIL) styling : Kan Nakagawara(CaNN)
hair&make-up : Takashi Hoshi(Signo) text : Takumi Eudo composition : Keiko Oshima

detail



右:ショルダーストラップ付きで、縦持ち用ハンドルも装備 左:さりげなくアピールできる〈ハンティング・ワールド〉のロゴタグ

color variation



HW COLLABORATION 2WAY BRIEF BAG

[HW コラボレーション 2ウェイ ブリーフバッグ]

イタリアの老舗生地メーカーであるリモンタ社の高密度ナイロンとスモースレザーを掛け合わせ、ミニマルなフォルムを描いた2WAYブリーフケース。内側にはノートPCに加え、名刺入れや手まわり品を小分けに収納できる。W43×H30×D10cm、4万9500円(アウール)

名門ブランドとのコラボに見る、現代のビジネスバッグの正解。

“Affordable Chic-上質を着こなす日常-”をコンセプトに、戸賀敬城と橋本 淳がタッグを組んで今春デビューした〈アウール〉。そのマインドを、ビジネスバッグで体現したのがこちらのコレクション。〈ハンティング・ワールド〉のラグジュアリーな世界観はそのままに、現代のビジネススタイルで求められる機動力や軽快さを享受できる。今求められる機能美とは、こういうことかもしれない。

HW COLLABORATION 3WAY BRIEF BAG

[HW コラボレーション 3ウェイ ブリーフバッグ]

detail



右:バックパックとして背負う際は、背面に収納されているハーネスを使用 左:ボトムにもトータルカラーのロゴをレイアウト

color variation



HW COLLABORATION BACKPACK

[HW コラボレーション バックパック]

HW COLLABORATION PC CLUTCH

[HW コラボレーション PC クラッチ]

color variation



detail

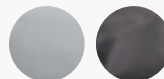


右:シグネチャーカラーでアクセント効果を高めたロゴ 左:起毛感のあるライニング。手触りがよく、PCも安心して収納できる

detail



color variation



右:右側面のファスナーを開けば、内部へのクイックアクセスが可能に 左:フロントには、手持ち用のハンドルも備わる

新ショップオープンに加え ポップアップ店も開催中!

4月中旬、阪急メンズ大阪B1Fにオンリーショップがオープン。また阪急メンズ東京4Fではポップアップストアも開催中。今回紹介したバッグのほか、〈アウール〉の全アイテムが揃うのでも見逃しなく。なかなか足を運べない! という人もご安心を。オンラインストアでもチェックできるので、是非覗いてみて! 公式オンラインストア aoure.jp

上:フロントに2つの大型ポケットを追加し、収納力を高めたりモンタナイロン製ブリーフケース。手持ちとショルダーストラップによる肩かけに加え、バックパックとして背負うこともできる3WAY設計。コレクション共通のディテールとして、滑りがよく高級感を印象づけられるエクセラファスナーを採用した。W44×H33×D17cm。6万8200円 右:ビジネスシーンにおける使い勝手と見映えを追い求めた、ミニマルデザインのバックパック。主室にはノートPCの収納があり、側面のファスナーから内部に素早くアクセスすることも。小物などの収納に便利なアウトポケットも複数完備されている。W34.5×H53×D14cm。5万9400円 左:ノートPCも収納できる、A4サイズのクラッチバッグ。フロントのジップポケットは、スマホなどの手まわり品の収納に重宝する。W33×H25×D5cm。2万900円(以上アウール)

AUDI

“Q4 e-tron”投入でいよいよ本格化。 電気自動車の普及に挑む 〈アウディ〉の戦略とは？

今年1月の年頭記者発表会にて、アウディ ジャパンは日本における電動化戦略を発表した。さらに当日には、100%電動のプレミアムコンパクトSUV “Q4 e-tron(イートロン)”の投入も発表。BEV(=バッテリーで走る電気自動車)のさらなる普及に向けて着実に駒を進めているように見える。そんな〈アウディ〉が掲げる今後の電動化戦略とは一体どんなものか？ そこには困難な課題に挑戦する並々ならぬ決意があった。



1月の記者発表会では、アウディ ジャパン プランドディレクターであるマティアス・シェーバース氏が登壇。今後の戦略について説明を行った

No.1プレミアムBEVブランドの確立を目指す。

販

売開始後12時間もたたないうちに、予定販売台数50台が完売。これは、年頭の記者会見同日に発表された、オンライン限定先着販売モデル〈アウディ〉Q4 Sportback e-tron 1st editionのこと。アウディ ジャパンは「これは〈アウディ〉の電気自動車e-tron に対する、お客様の関心の高さを示している」としているが、多くの人が選べる価格、サイズ、先進の性能面でも注目なのは事実。ただ同社によると、かつてない自動車業界の変革期の中であって、電気自動車普及のために取り組まなくてはならない課題も多いという。

ちなみに2021年の日本における〈アウディ〉登録台数は2万2535台。Q3、A3主体に奮闘するものの、例の世界的な半導体不足の問題がデリバリーに影響。前年比101%と微増にとどまった。しかしながら、電動スポーツカーの可能性を広げたRS e-tron GTにおいては、2022年の割り当て分はすでに完売。電気自動車のジャンルでも強みを発揮している。と

はいえ、これまで〈アウディ〉は、100%電動のラグジュアリーSUV“e-tron”を皮切りに、ラグジュアリー電動グランツーリスモ“e-tron GT”および“RS e-tron GT”をすでに市場に投入しているが、それでも2021年の電気自動車販売台数は全体比で1.5%。その数字を大きく伸ばしたいのが現状だ。これに対しアウディ ジャパンは、2024年までに“Q4 e-tron”を含むBEV15モデル以上を導入することを発表。BEV販売比率も2022年中には全体の7%に。2025年にはBEV比率35%、1万台以上を目指す。No.1プレミアムBEVブランドの地位を確立させようとするのが狙いだ。

一方で〈アウディ〉はただ単に販売台数を増やせばいいとは考えてはいない。今回発表された脱炭素社会を見据えたロードマップで掲げたのは、2030年までに持続可能性、社会的責任、技術革新におけるリーダーになること。そのために約5兆円規模の新技术への投資を行うという。つまり、よりよい未来を創造しつつ社会

的な責任も果たすということ。CO₂を減らすという難題に〈アウディ〉はすでに20年前から取り組んできているが、工場をカーボンニュートラルにする取り組みもそのひとつ。実は自動車のトータルライフサイクルの中で、生産時に排出されるCO₂は約2割。まずはその2割をコントロールしようというわけだ。同時に、最後の内燃エンジン搭載モデルを2025年に生産後、2033年には一部の地域を除き、内燃エンジンの生産を停止。2026年以降に新車として発売されるクルマはすべて電気自動車になるという大きなメッセージを発信している。

だが、いくら魅力的な新車を投入しCO₂削減を進めても、ユーザーが電気自動車の利便性を感じないと普及は進まない。その中で一番の懸念は、充電の問題ではないだろうか？ もちろん今、全国の至るところで充電拠点が増加中だが、マンション住まいなど、家での充電が現実的じゃない人も多いだろう。そこで急速充電器の設置拡大が重要になってくる。

これに対してアウディ ジャパンは、現在充電設備を持つディーラーに加えて、2022年3月から急速充電できる全国の拠点を54に増やす。たとえばe-tron GTの場合、150kWの急速充電を使うとわずか30分で走行距離250km分以上、約7分程度で走行距離100km分の充電が可能となるのだから、ずいぶん不安が解消されることになる。

また、1月1日に発足したフォルクスワーゲン グループ ジャパン(フォルクスワーゲン、アウディ、ランボルギーニ、ベントレー)の力をひとつに合せて、今後は各ブランドの充電設備を共有化していくことも発表。さらに全国のホテルなどとパートナーシップを結び、メーカーを問わず、すべてのEVユーザーに向けてお出かけ先での充電も可能にすることも進めていくというから心強い。もちろんこの秋以降発売予定のQ4 e-tronもそのような恩恵に浴することで、いっそう電気自動車が身近に感じられるだろう。そこにはきっと豊かな未来が待っている。

Audi Q4 Sportback e-tron



Audi Q4 e-tron



ボディタイプは、存在感のあるSUVとスタイリッシュなクーペSUVの2タイプ。最新の安全技術とアシスタンスシステムも搭載し、安心。
●全長×全幅:4590×1870mm ●モーター最高出力:150kW ●モーター最大トルク:310Nm ●バッテリー容量:82kWh
●駆動方式:後輪駆動 ●車両本体価格: Q4 40 e-tron 599万円～、Q4 Sportback 40 e-tron advanced 688万円～ ※写真、車両情報は欧州仕様車

カーボンニュートラルな工場が送り出す 〈アウディ〉初の電動プレミアムコンパクトSUV。

今後のe-tron戦略において非常に重要なモデルと位置づけられる、〈アウディ〉の電気自動車第3弾Audi Q4 e-tronとQ4 Sportback e-tron。エンジン搭載を考えない電気自動車専用プラットフォームMEBを採用し、ショートオーバーハング、ロングホイールベースを実現。上位セグメントに匹敵する快適で広い室内空間を生み出した。普通充電は最大8kWで125kWの急速充電(CHAdemo規格)に対応。一充電走行距離は516km(欧州参考値)と、実用性も高い。



センタークラスターが運転席側に向けられたコックピット。10.25インチのバーチャルコックピットと〈アウディ〉最大となる11.6インチのMMIタッチパネルを採用。ヘッドアップディスプレイも装備している

TUDOR

ゴールドケースで風格を増した
〈チューダー〉の名作。

お洒落映えするダイバーズで
休日カジュアルを格上げる。

ゴールドケースの名作時計は、いつだって身につける男に
奥行きを与えてくれる。とりわけそれが〈チューダー〉の人気
モデルの新色なら、ゴールドのあしらいにもセンスが宿る。
マットな質感が控えめなエレガンスを放ち、それによって引
き立つグリーンが休日の装いに違いをもたらしてくれる。

文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
text : Takumi Endo composition : Keiko Oshima

アリゲーター
ストラップ



オープンケースバックは、同社のダイバーズと
しては初採用されたもの。メインプレートには、
レーザー加工でデコレーションを施した



ファブリック
ストラップ

BLACK BAY FIFTY-EIGHT 18K

〔ブラックベイ フィフティ・エイト 18K〕

スイス公式クロノメーター認定を取得し
たマニファクチュール キャリバー
MT5400をムーブメントに搭載。約70時間
のパワーリザーブも特筆すべきスペック。
金曜の夜に腕時計を外し、月曜の朝につ
けたときにゼンマイを巻く必要がない。
ケース径39mm、自動巻き、18Kイエロー
ゴールドケース、アリゲーターストラップ
& ファブリックストラップ、200m防水。
191万5100円(チューダー／日本ロレッ
クス／チューダー)

ゴールドの腕時計を品よく纏
えると、それだけでお洒落に
おけるアドバンテージを得
ることができる。今それを叶えてくれる
タイムピースの筆頭株といえば、〈チュ
ーダー〉の“ブラックベイ フィフティ・エ
イト 18K”なのは間違いない。200m防
水を誇る本格ダイバーズの新色として
お目見えした本作は、一般的なポリッ
シュ仕上げのイエローゴールドではなく、
サテン仕上げでマットな質感を持たせ
ているのが特徴。アワーマーカーが施さ
れたダイヤルやベゼルは、深みのあるグ
リーンで彩られ、光沢を抑えたことで際

立つイエローゴールドのエlegantさを
印象的に見せてくれる。ちなみに“ブ
ラックベイ フィフティ・エイト”が時計
愛好家に愛されている理由のひとつに、
ダイバーズウォッチとしてはやや小ぶ
りな39mmの絶妙なケースサイズがある。
ダイバーズ特有の男らしさを必要以上
に主張することなく、手元に力強さを与
えるこのサイズ感もまた、新鮮さの演出
にひと役買ってくれそうだ。ストラップ
は、アリゲーターレザーと時計と同配色
のファブリックストラップがセットでつ
く。装いに合わせた手元の印象変化も、
気軽に楽しんでみたい。



**TIME INSTRUMENTS
FROM THE COCKPIT TO THE WRIST**

Bell & Ross

DIVER 300M

▷ BR 03-92 Diver White

Ø 42mm

bellross.com

NEW GINZA BOUTIQUE OPEN

Boost your mood!

FINEST SAUNA HOTEL*

こだわりのある本格サウナで新しい自分に出会う。

“ととのう”が流行語大賞にノミネートされるほど、いまや市民権を得ているサウナ。全身から一気に汗と老廃物を絞り出す。その心地よさといったら言葉にならない。サウナ自慢のこだわりホテルで、ディープなデトックス&リラックスを味わおう。

文＝古関千恵子 text: Chieko Koseki

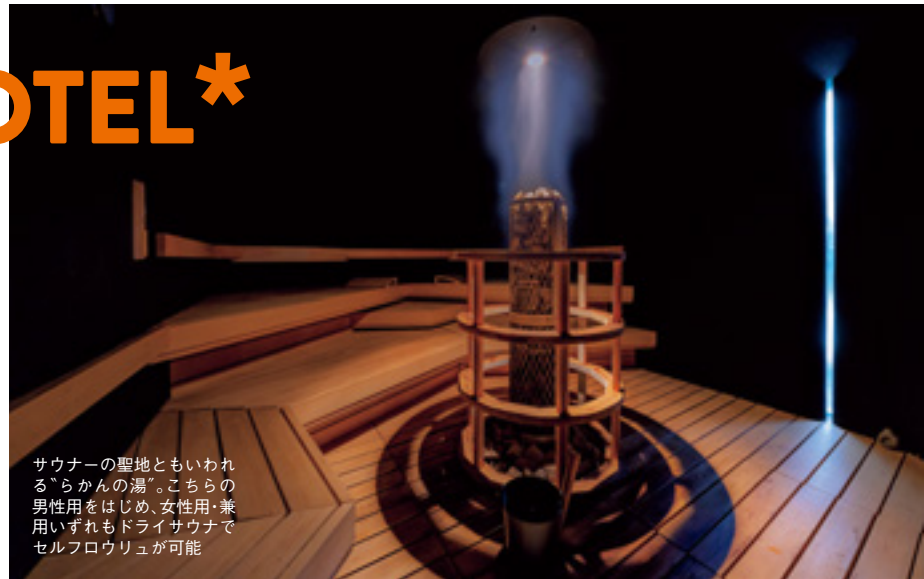
01 プロサウナーも憧れる本格派の宿。
御船山楽園ホテル

サウナ好きが今行くべき革新的サウナを表彰する『サウナシユラン』。3年連続そのグランプリに輝き、殿堂入りを果たしたのが佐賀“らかん”の湯”。数々の名作を世に送り出しているけれど、目下、話題の中心となっているのが、2021年に登場した男女兼用の薪サウナ。ガラス張りの向こうに御船山の森が広がり、天井の一部のガラス窓からは自然光が降り注ぐという景観。巨大な薪ストーブは、薪に地元武雄の間伐材を使用し

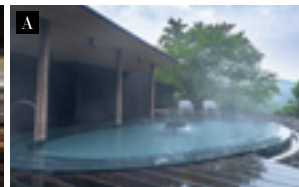
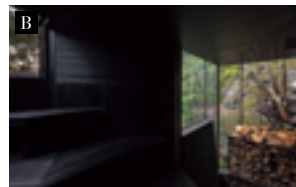
ている。約2.5トンのサウナストーンも御船山産。そして、ロウリュには御船山の天然水を使用。ご当地、御船山の自然を全身で感じながら、サウナ体験ができるわけだ。男性大浴場のドライサウナでは、佐賀・嬉野産のほうじ茶に御船山の天然水をかけて、香ばしいセルフロウリュが楽しめる。

DATA

㊤佐賀県武雄市武雄町大字武雄4100
☎0954-23-3131
<https://www.mifuneyama.co.jp/>



サウナーの聖地ともいわれる“らかん”の湯”。こちらの男性用をはじめ、女性用・兼用いずれもドライサウナでセルフロウリュが可能



A: 男性大浴場の露天風呂。歴史ある武雄温泉は、柔らかな透明な湯が特徴 B: ガラスの向こうに御船山が広がり、薪もサウナストーンもご当地産の新作サウナ C: サウナ付き特別室。無機質なコンクリートとウッドを組み合わせたインテリア。窓の向こうは50万平米の御船山の自然が見わたせる D: 特別室のサウナでは、温度やロウリュのタイミングもマイベースにサウナ三昧

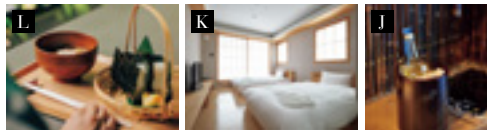
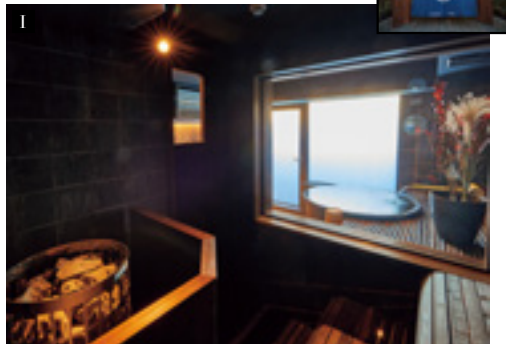
04 景色にも癒される天空のサウナ。
梅の屋リゾート
松川館

M: 壁も座面もヒノキ造りのフィンランド式サウナ。普通では物足りないサウナに嬉しい、100℃超えの高温。室内にはオートミスト機能も装備 N: 水風呂は15℃前後の山の水。松川館の先代が大切にしていた味噌樽に O: サウナー垂涎、”ウィスキング”が体験できる施設は貴重な存在 P: サウナ後に、信州プレミアム牛と高山村平飼卵を使った”信州たかやま井”を

長 野県高山村の閑静な温泉街の一面に今、サウナーが注目する温泉宿がある。それが、標高およそ1000mの高地に立つ、建物の屋上に築かれた”天空のサウナ”。四季折々で表情を変える北信五岳や松川渓谷。夜には世界第3位に選ばれたという星空の下で至福のサウナを楽しめる。ヴェーニク(白樺などの束)でカラダを叩き、血行促進やマッサージ効果を図る”ウィスキング”が体験できるのもまた格別。

DATA

㊤長野県上高井郡高山村山田温泉3507-1
☎026-242-2721 <https://ryokan-matsukawa.com/>

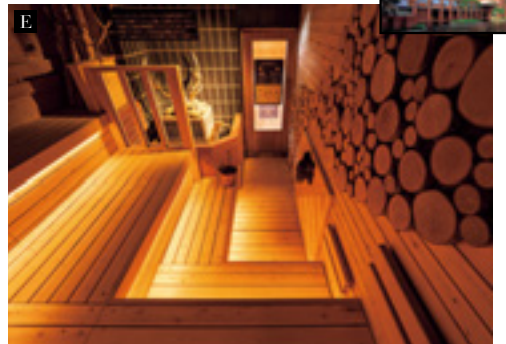
03 貸し切りが叶うプライベートサウナ。
KAMAKURA
HOTEL

I: 4名まで利用できる貸し切りサウナ。水風呂やドリンクコーナー、テラスなどがあり、90分間の貸し切り時間はあつという間 J: ロウリュにもお茶を使用 K: 和モダンな客室。最上階のデラックスツインは室内と同じ広さの専用テラス(リビングテラス)付き L: 朝食は日本のソウルフード、おにぎりと季節の漬物、お味噌汁。夕食は近隣の小町通りなどへ繰り出して

鎌 倉駅から徒歩2分。古都鎌倉の歴史を四季折々のシーンで伝える、わずかに16室のプチホテル。サウナは”お茶”をテーマにした宿泊者限定の貸し切り制(90分間/5000円)。90℃をキープしたサウナは、茶室のような渋い雰囲気。ロウリュにはお茶を使用し、香りに癒される。水風呂は陶器製。外気浴できるスペースがあり、備えつけの煎茶、玉露、ほうじ茶を片手にリラックスを。

DATA

㊤神奈川県鎌倉市御成町12-27
☎0467-55-5380 <https://kamakurahotel.jp/>

02 白樺の香りでカラダの底から安らぐ。
森のスパリゾート
北海道ホテル

E: 2021年5月にリニューアルした男性用サウナ。壁の白樺の切り株にモール温泉水をかけてロウリュできるのはここだけ。気分によって位置を変えられる3段ベンチ F: サウナ付きの部屋を希望なら、日高ウイング内サウナツイン”ととのえ”を G: 室内でのんびりサウナ H: テラスにはエタノール暖炉も

帯 広駅からクルマで5分とは思えない、遠くに日高山脈を望む、自然あふれる環境。ここでは世界的にも珍しい、植物由来のモール温泉がこんこんと湧く。サウナは十勝初の本場フィンランド式ロウリュが体験可能。モール温泉の蒸気に包まれ、十勝産白樺の壁でロウリュすることで、香りも満喫できる。水風呂は飲用にできる清流・札内川伏流水。サウナ付きの客室もある。

DATA

㊤北海道帯広市西7条南19-1
☎0155-21-0001 <https://www.hokkaidohotel.co.jp/>

VOLVO

誠実につくられた〈ボルボ〉XC90。

人が気持ちよくいられる 上質なSUVがあります。

よく晴れた休日には開放感を求めて海沿いへ。そんなライフスタイルを楽しむ人にとって〈ボルボ〉XC90は最高の相棒になる。スカンジナビアンデザインの上質空間の中では移動自体が快適なひとときに。クリーンなフォルムも青空によく映える。いつでも自然体で人に寄り添う知的なSUV。選ばれる理由はそこにある。

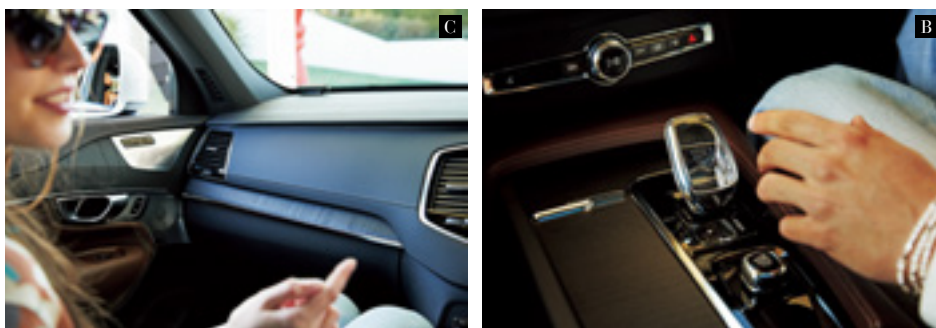
写真＝田中駿伍 スタイリング＝稲田一生 ヘア＆メイク＝勝間亮平 文・構成＝堀川博之
photo: Shungo Tanaka (MAETTICO) styling: Issei Inada hair&make-up: Ryohei Katsuma
text&composition: Hiroyuki Horikawa



「スマートなクルマに乗っている」を実感できる、洗練と信頼のSUV。

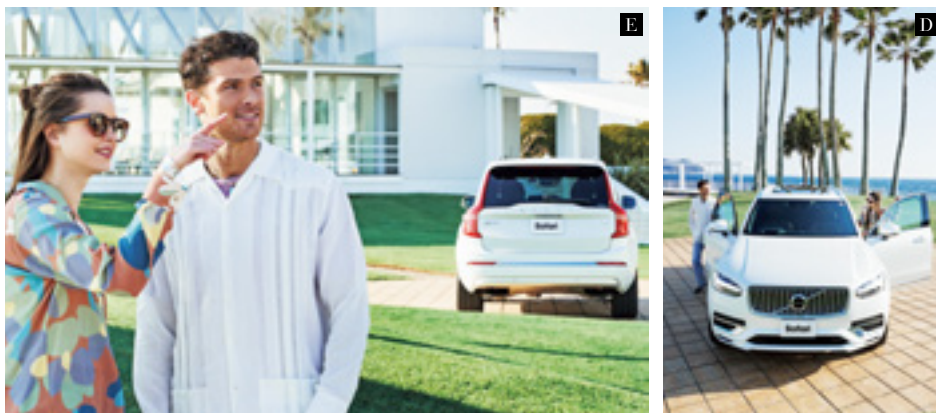
SUVの数ある選択肢の中で、まずは〈ボルボ〉に着目するのは賢い選択かもしれない。誠実なもののづくりのもと、クリーンで安全、知的なイメージがあるのが〈ボルボ〉。事実そのとおりで、本物の価値を求める大人には最良の選択となるだろう。そして、そこにラグジュアリーなゆとりを上乗せしたのが、このXC90。シャープな外装デザインに、内装はシンプルにしてモダン。どこか温もりを感じるのは、人に

優しいスカンジナビアンデザインゆえ。まるでリビングにいるような、静かで心地よい移動空間が味わえる。もちろん走りや機能性も満足できるもの。プラグインハイブリッドを選べば、さらに静かで走りもなめらか。ピュアなEV(電気自動車)としても楽しむことができる。まさに“移動する気持ちいい部屋”として、上質な生活に寄り添ってくれるXC90。これなら週末の遠出も増えそうだ。



インテリアはリビングのようなくつろぎの場所。

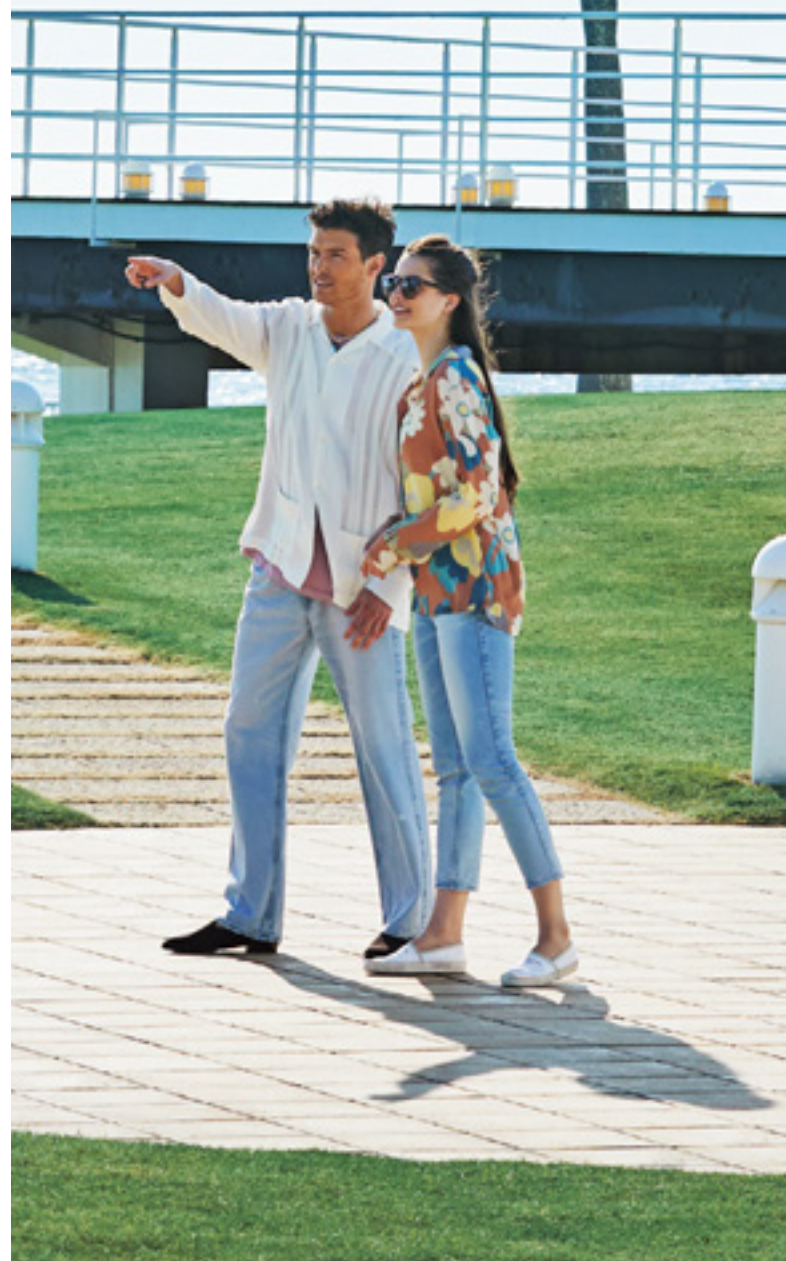
A: 広くて伸びやかな、スカンジナビアンテイストあふれるダッシュまわり。中央には操作がしやすく視認性の高い、縦型のインフォテイメントディスプレイを配置。静かな室内ゆえに、高級オーディオシステム(パワーストーン ウィルキンズ)の立体的な音響がさらに際立つ B: オレフォス社製クリスタルシフトノブは、握ったときの感触が非常になめらか。触れるたびに高級感を肌で感じさせる C: ウッドパネルと美しいステッチが入ったレザーのコントラストが高級感を醸し出す。助手席のレッグスペースも広く、ストレスとは無縁



美しい外観は人を気持ちよくさせる。

D: 堂々とした風格を感じるフロント。〈ボルボ〉のアイコンとなった印象的なT字型のデイトライトは、北欧神話に登場するトール神(雷神)が持つハンマーがモチーフ。また、アイアンマークを中央に配したエレガントなグリルは、〈ボルボ〉のアイデンティティを表現。大型サンルーフがついているので、開放感を感じながらドライブが楽しめる E: 安定感を感じるリア。縦に延びたリアライトも力強い造形が特徴 F: シャープなショルダーラインが美しいボディサイド。シンプルで機能美を宿したスカンジナビアンデザインを色濃く反映している G: 〈ボルボ〉XC90は、48Vハイブリッドとプラグインハイブリッドが選べる。後者は改良によりEV走行距離が39kmから73kmへと大幅に躍進。高出力かつ電気モーター由来のスムーズな加速と抜群の操縦性が楽しめる

男: シャツ4万1800円(フィル ザ ビル/フィル ザ ビル マーカントイル)、Tシャツ7150円(アーモンド/トライオン)、デニム2万5300円(アッパーハイツ/ゲストリスト)、ネックレス2万9700円(アマラ/S.O.S fp 恵比寿本店)、ブレスレット1万2100円(アンブジャパン/S.O.S fp 恵比寿本店)、靴8万3600円(ボードイン アンド ランジ/コロネット) 女: シャツ9万1300円(アスベジ/トヨタトレーディング プレスルーム)、靴3万1900円(フィリップモデル/トヨタトレーディング プレスルーム)、デニム2万5300円(アッパーハイツ/ゲストリスト)、サングラス2万8600円(ブラン/ジービーガファス)、バングル8万8000円(シンパシー・オブ・ソウル スタイル/S.O.S fp 恵比寿本店)



VOLVO XC90 Recharge

[ボルボ XC90 リチャージ]

- 全長×全幅×全高: 4950×1960×1775mm ●ホイールベース: 2985mm
- 車両重量: 2130kg ●エンジン: 2.0ℓ 直列4気筒DOHCターボ+電気モーター
- エンジン最高出力: 233kW(317ps) / 6000rpm
- エンジン最大トルク: 400Nm(40.8kgm) / 2-4800rpm
- モーター最高出力: 前52kW / 3000~4500 rpm、後107kW / 3280~15900 rpm
- モーター最大トルク: 前165Nm / 0~3000 rpm、後309Nm / 0~3280 rpm
- トランスミッション: 8速AT ●駆動方式: AWD
- メーカー希望小売価格(税込み): 1149万円~

※撮影車両はオプション装着車

◎ボルボ・カスタマーセンター ☎0120-55-8500 volvocars.jp

※掲載商品のお問い合わせ先/フィル ザ ビル マーカントイル ☎03-6450-3331 トライオン ☎03-5820-7785 ゲストリスト ☎03-6869-6670

S.O.S fp 恵比寿本店 ☎03-3461-4875 コロネット ☎03-5216-6521 トヨタトレーディング プレスルーム ☎03-5350-5567 ジービーガファス ☎03-6427-6989



ATLAS

都市型マンションブランド〈アトラス〉が選ばれる理由とは？

叶うのは“心躍る上質な暮らし”、 しかも都心の好立地で。

ものごとの本質を見極め、自分にとって価値のあるものに投資することで、心が豊かに満たされるもの。それは暮らす場所もまた然り。思いを叶えてくれるのが、旭化成の都市型マンションブランド〈アトラス〉。都心の好立地にロケーションを得たマンションなら、思い描いていた“心躍る上質な暮らし”が手に入る。

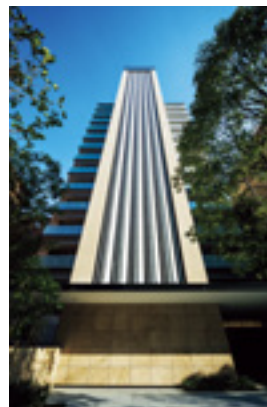
写真＝丸益功紀 文＝荻原嘉人 photo : Koki Marueki (BOIL) text : Yoshito Ogiwara

〈アトラス〉とは？

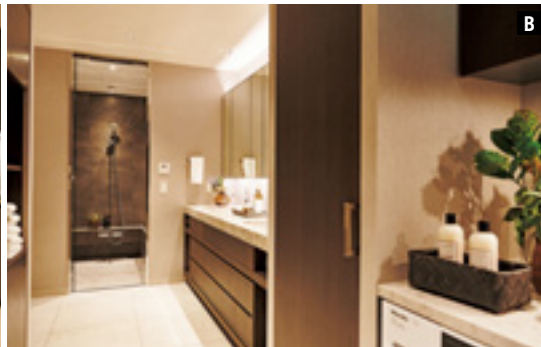


建て替え事業だから実現できた
格上のマンションブランド。

業界に先駆け、マンション建て替え事業を推進。希少立地に商品性・外観デザインの高付加価値を備え、次代へ継承する邸宅へと再生。この事業により、災害に強い街づくりはもちろん、街の継続的な発展に寄与している。



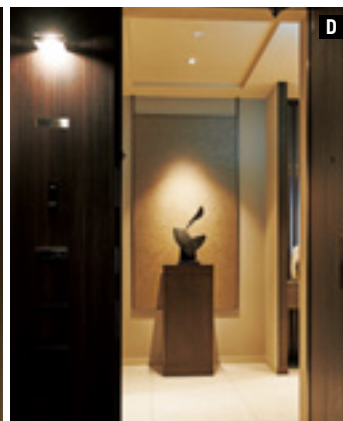
01 〈アトラス〉が選ばれる理由 高級ホテルのような空間が“安らぎ”を誘う。



A:上質感とリラックス感を演出する照明プランも、〈アトラス〉のこだわり。壁や床に使用された上質な内装材に加え、大きなサイズの家具をしつらえ、邸宅感を醸し出している B:使い勝手のいい2ボウル洗面台を備えたパウダールーム。バスルームの床や壁にもワンランク上の素材を使用している C:キッチンルームは完全独立タイプだが、2方向に出入り口がある2WAY仕様。考えられた動線からも上質へのこだわりが窺える。また、中央にはアイランドカウンターを備え、ワインセラーやオープンビルトイン。キッチン内の器具はすべてドイツのメーカーで統一されている。さらに、各部屋のドアノブにほどよい重さを持たせているのも上質ポイント

02 〈アトラス〉が選ばれる理由 素材選びと照明に こだわった空間演出。

D:天井いっばいに設計された高級感のある玄関ドアを開けると、アートを飾れる贅沢空間が迎えてくれる。玄関は上がり框のないフラットタイプ。光と影のコントラストが素材のよさを際立たせている E:玄関脇のシューズクローゼットには、あたたかみのあるような“見える”光の演出が。ここにはゴルフバッグやトランクなど、部屋の中に持ち込みたくないものが収納できるばかりか、お出かけ前後に便利なコートラックも設置



写真はプレミアムルームのリビング&ダイニングで、広さは約25畳。スペースをしっかりと確保することで、目的の異なる空間の区別を実現している。また、ほどよい厚みがありながらも床暖房効率を損なわないウッ드의床材は、足あたりが柔らかく快適に生活できる

Information

上質な暮らしを体感できるモデルルーム公開中！

〈アトラス〉の世界観を凝縮したギャラリーには、今回紹介したプレミアムルームのほかにスーパーリアルームのモデルルームも設置。最近多いバーチャルな仕掛けではなく、来場することでしか体感できない空間作りにこだわり、上質なライフスタイルを五感で感じられる工夫を随所に展開。渋谷のリアルな景色を取り入れた空間も必見。

アトラスギャラリー渋谷

④ 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティ11F
⑥ 火曜・水曜・第2木曜
☎ 03-6861-3740

ATLAS



マンションを購入する際、プライオリティが最も高いのが立地。確かに閑静な住宅地も悪くはないが、利便性を重視すればやはり都心部が理想的。とはいえ、駅近・好立地の都心部には、マンション用地はほぼ皆無。広さや質、価格などのバランスがよい新築物件となると、立地を妥協するしかないのが現状だ。

そんな状況下でも渋谷、表参道、青山、白金など、東京都有数の一等地に新築マンションを展開しているのが、今回紹介する〈アトラス〉。都心部の用地取得が困難なこの時代に、なぜ好立地の物件を供給できるのか？ それは土地を仕入れて開発す

るのではなく、もともと人々が長く住み続けた土地・建物を新たな分譲マンションとして建て替え、供給しているため。これは街の継続的な発展に寄与するサステナブル事業でもある。

さらに刮目すべきは、内装のクオリティ。長年にわたり都心部で供給してきた実績と経験により培われた、素材の使い方などのノウハウを生かし、分譲マンションの概念を覆すラグジュアリーで上質な空間を提供。ブランドコンセプトである“こころ躍る、上質”が見事に体现されている。もちろん、ここまで好条件の物件であれば資産価値も高い。将来性を考えても間違いのない選択だろう。



HOUSETRAD

『Safari Online』で『Safari』監修の別荘の詳細をチェック!

『Safari』×〈ハウストラッド〉の別荘プロジェクト。物件の詳しい情報などをSafari Onlineでご紹介。気になった方はQRコードからチェックしてみてください!



〈ハウストラッド〉と『Safari』が別荘をリノベーション。
避暑地に佇むモダン建築の別荘が
ミッドセンチュリーに生まれ変わる。

『Safari』×〈ハウストラッド〉のコラボによる別荘リノベーションプロジェクトが始動。その舞台に選ばれたのは、二拠点生活の移住先として人気急上昇中の中軽井沢。某有名企業の会長が所有していたという2棟建ての別荘が、果たしてどう生まれ変わるのか?

写真＝橋本裕貴 文＝木内アキ

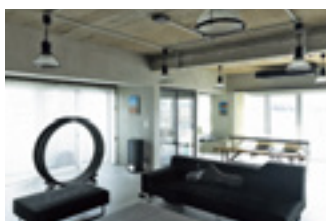
photo : Hirotaka Hashimoto text : Aki Kiuchi

HOUSETRAD

アメリカナイズされた
上質な住空間を提案。

“古くなって捨てられるようなモノは、買わない、売らない、つくらない”が理念のリノベーション会社。個人宅以外にも、オフィス、店舗、オーダー家具までデザイン。専属の不動産アドバイザーもいるので物件紹介も可能。住空間のスペシャリスト。

④東京都目黒区中目黒1-9-3
ROJU NAKAMEGURO
☎03-6412-7406
<https://housetrad.com/>



都

心から離れた自然の中に家を持つ。かつては贅沢とされたそんなライフスタイルも、ニューノーマルを経て身近な選択肢に。そこで立ち上がったのが、ミッドセンチュリーを感じさせる住空間デザインに定評のある〈ハウストラッド〉。そのハウスデザインの雄と『Safari』がコラボし、別荘を丸ごとリノベーションして販売する。場所は中軽井沢駅からクルマで約10分。カラマツや白樺が生える、千ヶ滝西別荘地の一画にある。木と

コンクリートを組み合わせたモダンな建物は、母屋と離れの計2棟という構成。〈ハウストラッド〉ディレクターの細田邦彦氏は「リビングの大開口から切り取られる緑の風景とテラスの開放感がすごい。キッチンやバスなどの水まわりは機能的に整えますが、ここはあくまで別荘。使いやすさを詰めこむより、ゆったりと寛いだ気持ちで過ごせる空間にしたい」と語る。完成は今年夏前を予定。住まい手待つこの家がどう生まれ変わるのか、期待していただきたい。

Gastronomic City TOKYO*

つ い最近、思いがけなくめっぽう美味い鴨料理に出くわした。しかも、時を同じく都内にある2店舗のフランス料理店で、感動的な皿を体験したので、今回は双方の鴨料理をメインにご紹介しようと思う。タイトルはあえて“鴨対決！”としたが、競い合う企画ではなく、それぞれの味わいどころを中心にレポートしたいと思う。

まず、鴨料理の名店〈トゥールダルジャン 東京〉から。パリ本店の〈トゥールダルジャン〉の歴史は1582年まで遡り、今でも約400年前と同じ場所にある。19世紀末に当時の支配人、フレデリック・デレールの鴨料理が評判を呼び、彼が手掛けた、鴨の1羽ごとに通し番号をつけるアイデアも加わり、世界的な名声を得た。〈トゥールダルジャン 東京〉は、その唯一の支店として1984年にホテルニューオータニの中に誕生した。絢爛豪華な内装は開業当時のまま。久しぶりに訪れたが、サービス練度やその雰囲気、改めて感服した。そして鴨料理である。エグゼクティブシェフのルノー・オージェ氏は、2019年にM.O.F.（フランス国家最優秀職人章）を受章。筆者は、彼の受章後はじめて食したが、その名店の看板に恥じぬというべきか、鴨とはこういう味なのだ！というメッセージすら感じる一皿だった。

ところが、その皿に勝るとも劣らない鴨料理に出合った。東京・白金台のフランス料理店〈ジョンティアッシュ〉のそれである。料理長の平野敬祐氏は、1990年生まれと気鋭の料理人ながら、修業で培った確かな技術をもとに、華やぎある緻密な料理の数々で堪能させるが、白眉は鴨料理。北京ダックの手法をヒントに皮目を香ばしく仕上げ、中の身の部分は彼独自のテクニックで絶妙なミディアムレアに仕上げた挑戦的な逸品。鴨の通ですら思わずうなるに違いない。

王道に陶醉するか気鋭で攻めるか。甲乙つけがたい鴨料理。是非ご自身で味わい比べてほしいのである。



取材・文 中村孝則 美食評論家

1964年神奈川県山梨生まれ。ファッションからカルチャー、美食などをテーマに新聞や雑誌、テレビで活動中。主な著書に『名店レシピの巡礼修業』（世界文化社）がある。2013年より『世界ベストレストラン50』の日本評議委員長も務める。'21年春より、J.R九州が運行する「なつ星in九州」の公式ムービーに主演している。



“幼鴨のロースト エピスソース サボイキャベツとアンディーブのカネロニ”



Gentil H

【ジョンティアッシュ】

若いチームで挑む 優雅なる美食の館。

東京・白金台の個人の邸宅に招かれたようなリラックスした雰囲気。平野シェフの料理は創意にあふれ、味の重なりにも、明るさや華やぎがある。料理に呼応したサービスも素晴らしい、ペアリングにも新しい提案が盛りこまれており、好印象である。

A: “銀の鴨”は、青森県新郷村で育てられる、フランスのバルバリー種の鴨である。平野シェフは、その鴨を独自の工夫で火入れし、皮目は餡がけし北京ダック風に仕上げる。これが絶品である B: ブラッドオレンジとカンパリのジュレでコンポートした“フォアグラのフオンダン” C: 平野敬祐シェフ



“北京ダック風にローストした青森銀の鴨”

DATA

④ 東京都港区白金台5-18-17
ゴールドフォレストビル2F
⑤ 12:00～15:30、17:30～21:00
⑥ 月曜・火曜を中心に月8回
☎ 03-5447-8889
<https://www.gentil-h.com/>



王道それとも気鋭？ 東京・フレンチ名店の鴨対決！

鴨といえばフランス料理の代表的な食材のひとつである。今回は、今東京で絶対に味わうべき、新旧の名店の鴨料理を取り上げながら、その味わいどころ、お店の楽しみ方の醍醐味について紹介したい。

取材・文＝中村孝則 text：Takanori Nakamura



TOUR D'ARGENT TOKYO

【トゥールダルジャン 東京】

すべてが一流！ 名店の底力を味わえる店。

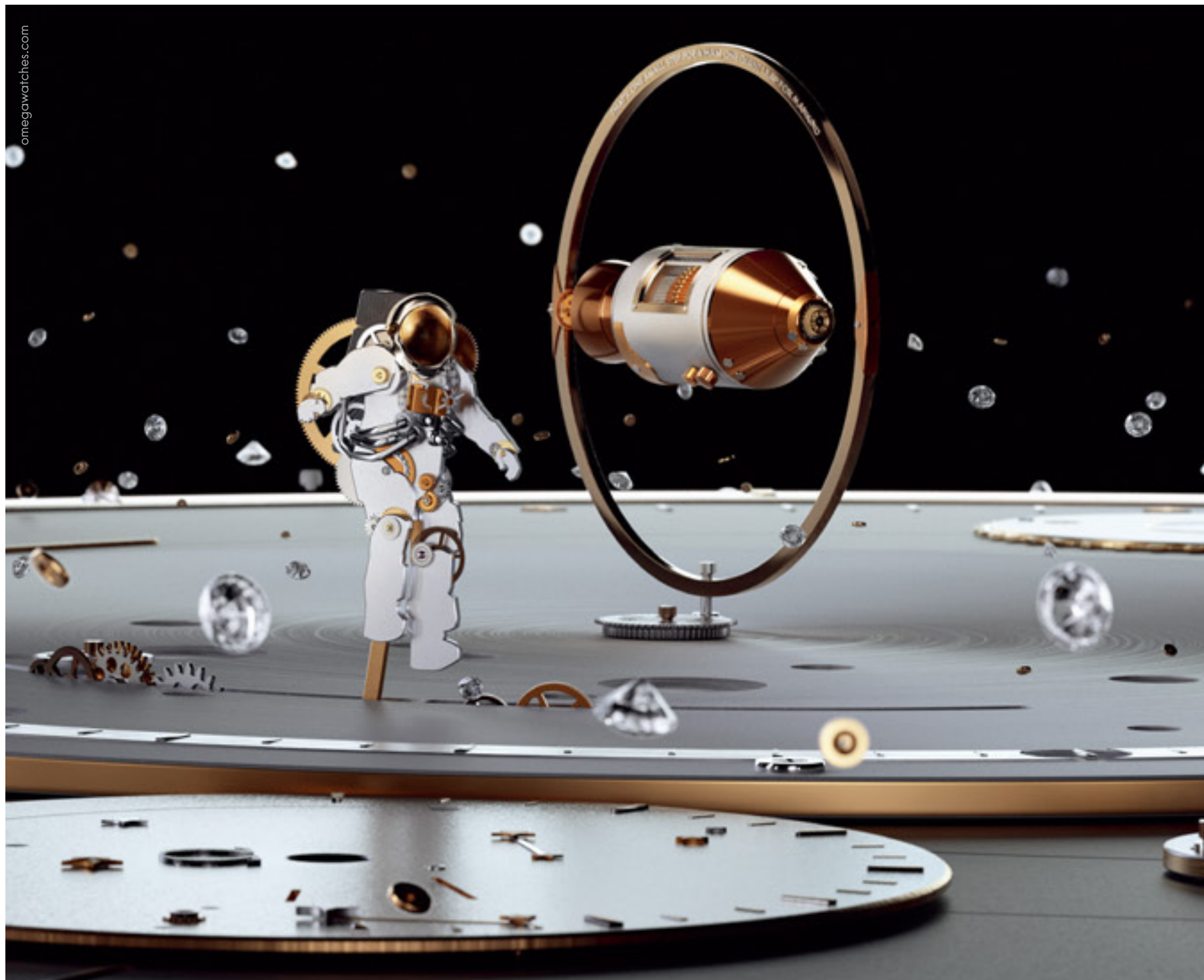
1984年の開業から変わらぬスタイルを貫くその姿勢には脱帽である。このような時期だからこそ、ダイニングの醍醐味を味わうことができるだろう。むしろ新鮮な驚きがあるはずだ。料理も時代に呼応してさらに洗練されている。ワインの素晴らしさもいわずもがな。

A: 高い天井に巨大なシャンデリアがよく似合う。フランス貴族の邸宅のようなアールヌーボー調の内装は圧巻 B: エグゼクティブシェフのルノー・オージェ氏は、その極めて高い技術で2019年M.O.F.を獲得。日本在住のシェフでは37年ぶりの快挙だとか C: “平貝のバリジェンヌ仕立て 滑らかなレフォールのムースとエイグレットソース” D: “黒ムツのムニエル ディプロマットソース”

DATA

④ 東京都千代田区紀尾井町4-1
ホテルニューオータニ ザ・メイン ロビー階
⑤ ランチ12:00～13:30（最終入店時間）、
ディナー17:30～20:30（最終入店時間）
⑥ 月曜～水曜
☎ 03-3239-3111（直通）
<https://tourdargent.jp/>





スピードマスター ムーンウォッチ
コーアクシャル マスター クロノメーター

LOOKS MAGICAL. WORKS BEAUTIFULLY.

神秘的な美しさ。精巧な動き。想像を超える世界が広がる
オメガウォッチの内部、その夢のような世界は確かな技術に
よって創られている。オメガのキャリバーは、数々の部品が
ひしめき合う小宇宙だ。一つひとつが精緻に調和して時を刻む
オメガのタイムピース。その卓越した精度は、アスリート、
深海探検家、そして宇宙飛行士からも信頼を置かれている。

Ω
OMEGA

銀座本店 / 六本木ビルズ / 小田急新宿 / 西武池袋 / 伊勢丹新宿店
日本橋三越 / 心齋橋 / 阪急うめだ本店 / 大丸神戸店